

# 業界での古い常識や 変わらない風習

## に関する調査

【実施期間】

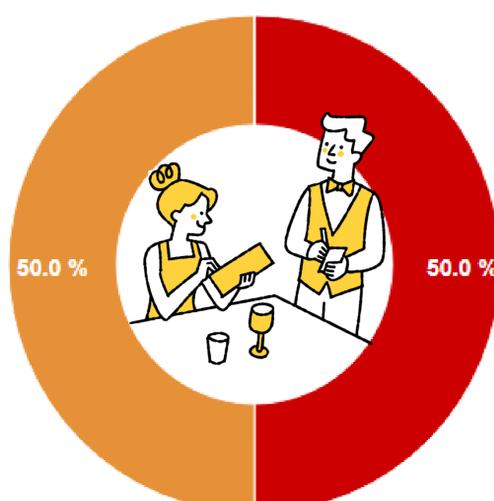
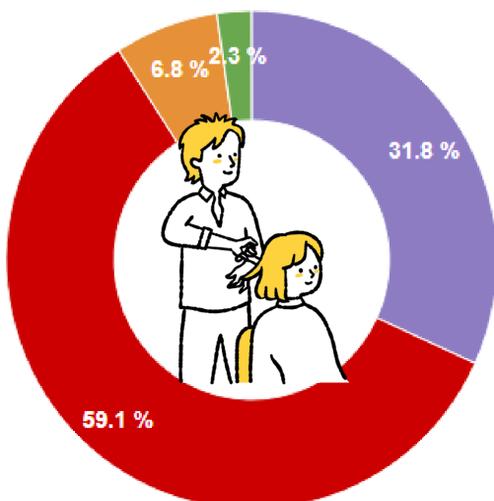
2024年11月

### 古い常識と感ずることの有無

—ご自身の業界で「古い常識」と感ずるものはありますか？

#### ▼ 美容業

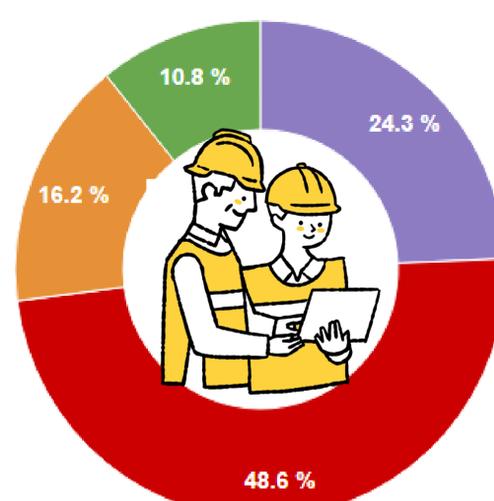
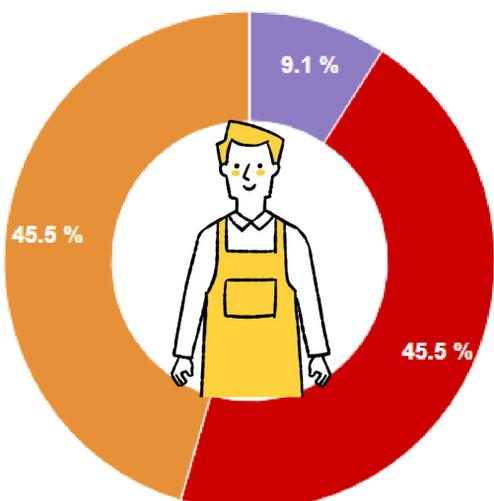
#### ▼ 飲食業



多くある 一部ある ほとんどない 全くない

#### ▼ 小売業

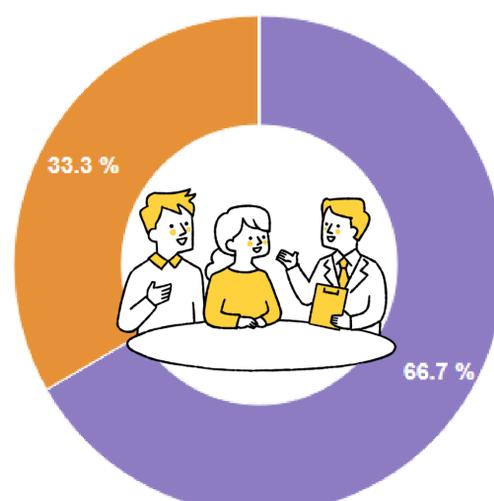
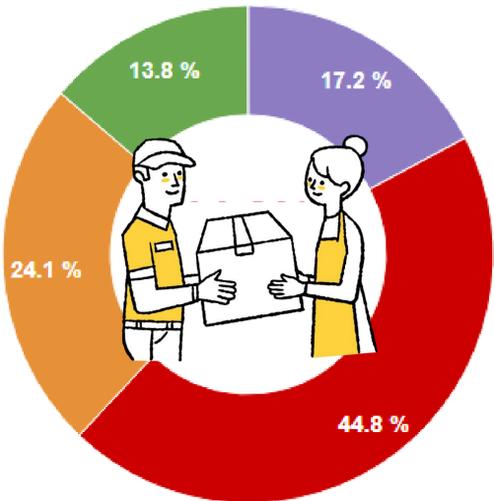
#### ▼ 建設業



多くある 一部ある ほとんどない 全くない

#### ▼ 運送業

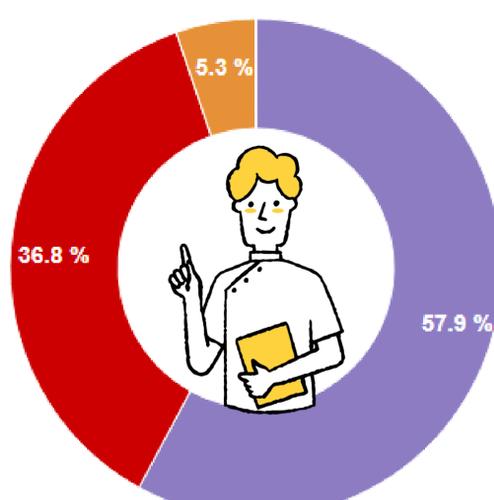
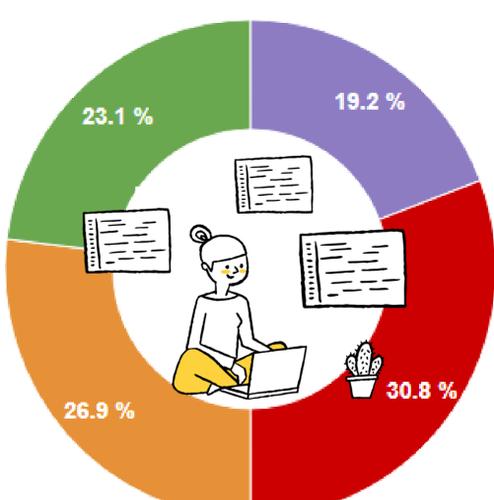
#### ▼ 不動産業



多くある 一部ある ほとんどない 全くない

#### ▼ WEBサービス業

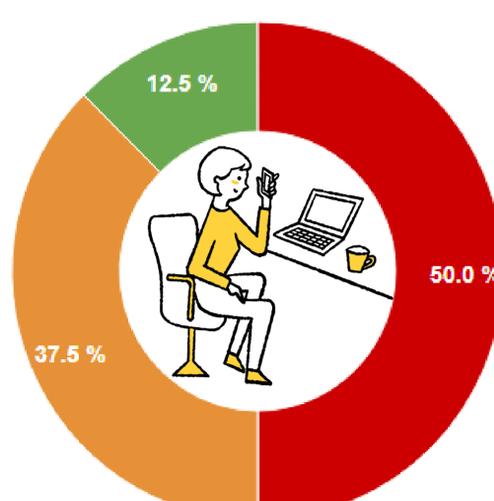
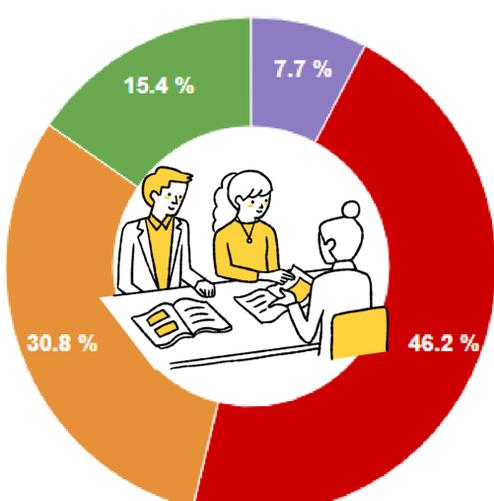
#### ▼ 医療業・福祉業



多くある 一部ある ほとんどない 全くない

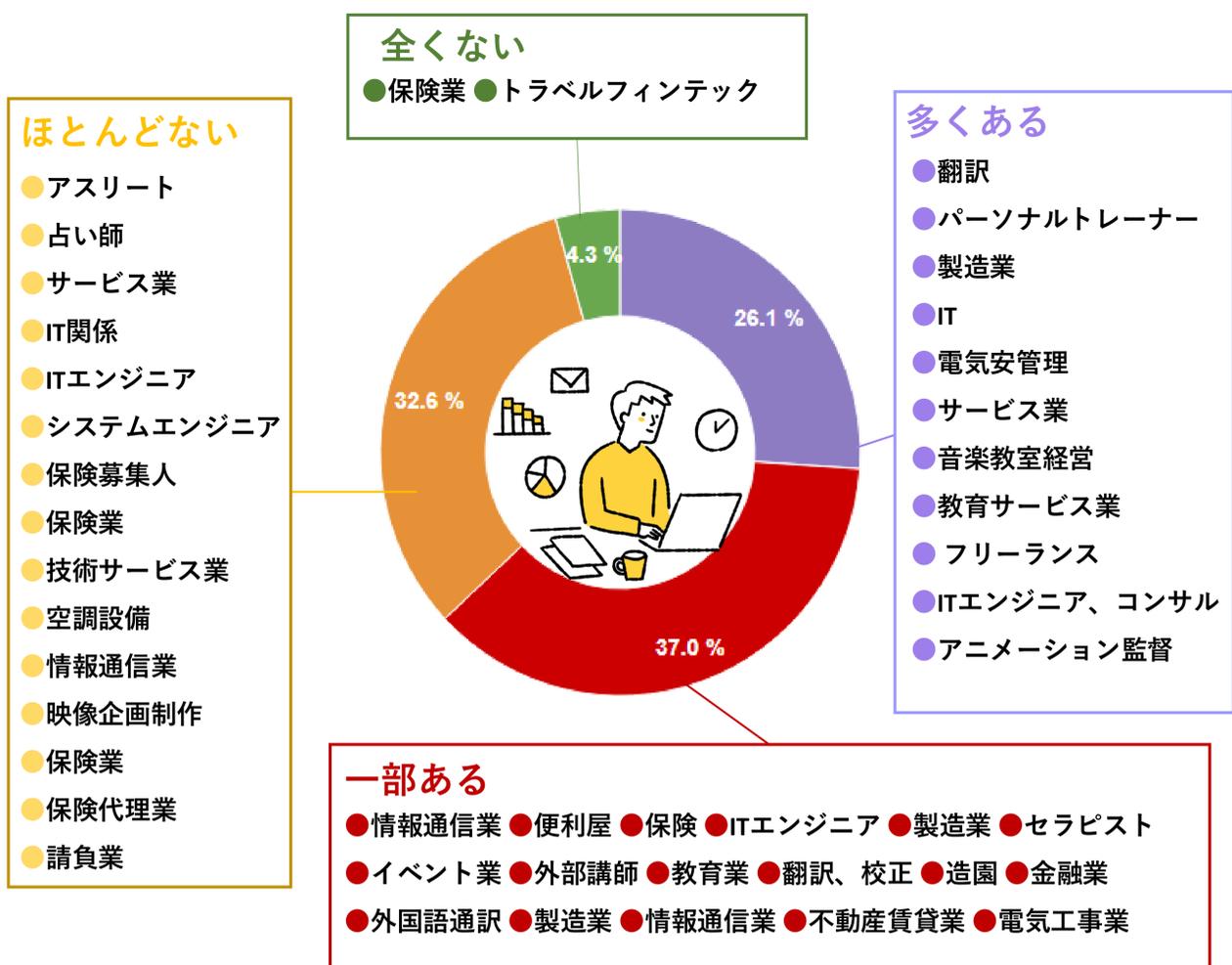
#### ▼ 専門家（士業・FP・コンサル）

#### ▼ 個人投資家



多くある 一部ある ほとんどない 全くない

#### ▼ その他



## 古い常識と感じる事柄

—ご自身の業界で「これは古い常識だ」と感じる具体的な例や経験談を教えてください。

### ▼ 美容業

- ミーティングなどで距離が遠くても向かわなければならないこと
- 客とはしゃべれ。という考え方
- お昼を抜いて働く、休憩時間を割いて予約をとるなど
- 年功序列で古い人の方がえらい空気感
- 残業代が出ない、退職金がない、有給休暇が保証されない
- 月に数回のミーティングで、内容的には集まった方がいい事もあるが、ほとんどzoomなどで良かったと思う。交通費も会社の経費であった
- スタッフ達を争わせて、業績を上げていかせるやり方
- 朝早くや夜遅くに、技術の練習をすること
- 営業時間や日数。経営者となってからはあまり定休日以外で休むことを考えて来なかった
- 当たり前をやってきたことが、今の後輩などにとっては、通用しないこと
- シャンプーの際の声掛け「お湯加減大丈夫ですか？かゆいところはないですか？」など
- 男性と女性のカットするところが分かれている
- サービス残業が多い
- 先輩が後輩の仕事を手伝わない、好きな時間に帰れない
- 休みの日に自腹で講習会参加
- スタイリストとアシスタントの上下関係が厳しすぎる
- 土日休みがなく、冠婚葬祭に出席しにくい
- 美容室オーナーに対して先生と呼ぶ習慣。また呼ばせること
- お客様の予約が入ってなくても営業時間中はお店をオープンしておくこと
- 理美容業界では多くのお店が月曜日を休みにしている

### ▼ 飲食業

- 調理場は男性の仕事とされた時代があった
- 人手不足の昨今、まだまだお客様は神様です的な態度が見え隠れする
- 清潔感の感覚はかなり変わり、髪色、ネイル、メイクはお客様から許される範囲が大幅にゆるくなった
- 注文はスタッフが対応するのが当たり前だって認識が古い

### ▼ 小売業

- IT化できる書類上の処理などをまだ人がチェックしている状態のため、処理が遅い。また、担当者によって指示内容が違うことがある
- シフト作りが1ヶ月ずつになっていること
- 学歴が高い人ほど優秀と昔は言われていたが、業界内や周りを見てみると高卒の方でも年収が高い人もいる
- 未だに業務連絡を紙ベースで行っていることが多い
- 個人でネットショップ開業なんて不可能と言われることが未だにあるが、今はシステムが整っており、誰でも気軽に始められる
- 「実店舗がないと信用されない」という考えは
- お会計をする際にタバコを購入するお客様がカウンターの上にちょうど金額を置いて行くこと
- メールなどではなくてFAXでのやり取りが多い企業

### ▼ 建設業

- 若手はまず雑用から始め、数年経ってから仕事を覚えるもの。という考え方
- 下の教え方が今だに見て覚えてって言うてる大工さん
- 最近の電動道具に頼らず、昔ながらの道具で作業すること
- 見習い期間の時は、親方より早い時間に出勤すること
- 工事完了後に、こちらからの請求額に対して元請けが端数を切るように持ちかけてくること
- 高額なものを提供するため、対面打ち合わせや現調が不可欠であること
- サービス残業について、今は休憩や定時刻を守ってくれているところが多くなって来ているが、休憩が無かったり、少しオーバーした時は空気を読んでサービス残業になったりする
- 決まった仕事しかせず、新しい事をやろうとしない
- 休日、残業等の労務管理について、工期優先主義
- 仕事は見て覚える。教えない。怒鳴る。など
- 髪の毛の色が奇抜、服装が派手など容姿のことを気にする
- 高価な道具でも個人持ち、車も個人持ちなど
- リースでの仮設工事なのに関係ない仕事をやらせようとする監督が多い
- 根性論。人には得意、不得意があるが、しっかり教えることをせず、見て覚えろなど具体的なアドバイス無しで仕事をさせていること
- お客様は神様な発想は古いと思うが、基本的な考え方としては正しい姿勢だと思う。ただ、最近ではお客様の方がお金を払う前から「私はお客様だから、客に向かって」のように勘違いしているケースも多いと思う。全ては需要と供給のバランスで成り立つため、双方が相手を選択できる時代になっていくべき
- 建設業界での接待して仕事をもらうこと
- 年功序列の給料
- 昔の人は、昔は安全性を意識してないから大丈夫と言うこと

### ▼ 運送業

- 運送業の個人宅配送業において、オートロックの集合住宅に置き配設定されていても住人が在宅していないと置き配が出来ないこと

- 運行表や納品書、積荷のリストなど現在はIT技術の進歩により、これらの業務はすべてデジタル化されており、GPS追跡やリアルタイムの配車管理システムが導入され、効率的かつ正確に運行状況を把握できるようになっている、まだ紙を使っている企業もある
- いまだに無線配車を行っている、紙でのやり取りが多い
- 朝早くから夜遅くまで働くことが当たり前
- 再配達連絡をいまだに電話で受け付け、無理な配達を電話で知らせてくるコールセンターは古い
- 時間での報酬だが仕事が終わらなければサービス残業となる
- 自動車を動かす前に10分以上暖気しなければならない
- 全てがお客様は神様だ的な考えによるパワハラ
- 口調が強い人は、優遇されている点。荷量などの差がある
- 必要な部分も多いが、電話等のコミュニケーションは少しはメール等に置き換えていったほうが良い

## ▼ 不動産業

- 昼休みの時間に企業を訪問し、お菓子や名称を机の上に置いてくること
- 年功序列、男と女の違い、住んでいる場所や国籍
- 契約書類に認印、契印、割り印など印鑑を押す場所が多い

## ▼ WEBサービス業

- 紙ベースで業務が遂行されており、デジタル化が進んでいないこと
- IT・ソフトウェア業界は、多重下請け構造。上位会社が下請けに仕事を投げ、そこから、また孫請に投げ...という具合に商流が深くなっていく。商流が深い場合、複数の仲介会社に発注料金を持っていかれ、エンジニアの取り分は減少する。最近では、元請け業者と商流の浅い案件などを謳う業者も増えてきたが、商流の深い案件は、業界の悪しき慣習であると思う
- 出社することに拘ってような会社
- 一定割合、その職場に長くいる人の方が発言権を持っていたりするところや役職者が間違ってもNOを言えない状況
- 「対面打ち合わせ必須」の考えは古く、今はオンラインで信頼構築が可能
- 打ち合わせや会議に必要以上に多くの人が出席している
- リモートワークが可能にも関わらず、週に一回以上の出社などが規則化されている場合があること
- 様々なサービスが無料で当たり前などの感覚が消費者に染み付いている
- 何でもかんでも人を集めて会議をしたがり、無駄な時間がすぎていくこと
- ホスト汎用機は無くなると昔から言われ続けているが未だに活躍している
- SEO対策として冗長された長い文章、過剰な情報量で記事を書くこと
- 「ウォーターフォール開発が万能」という考え方。現在はアジャイルやデブオプスが主流で柔軟性が重視されている
- 終身雇用や年功序列が安全という考えは、現代の多様な働き方に合わない古い常識
- Web記事など、いつまでも旧来のフォーマットに沿った画像や見出しなどを使ったものがある

## ▼ 医療業・福祉業

- 処方内容の固定概念は古い常識だと感じる
- 保険診療の中にほぼ使われない物が残っていること
- いまだに印鑑が主流で電子認証などが少ない
- 役所に対しての請求業務が全て紙で行われ、質問等はFAXでしか受け取れないこと
- 整骨院や治療院では、電気治療や物量器械が当たり前の常識となっていること
- 高齢者の方が治療者に対して粗品をあげたり、金銭をあげるなどの贈答品をあげる風習
- RSウイルスの抗原検査の保険適応が1歳未満であること。このため、ほとんどの人は自費で抗原検査を受けなければいけないが、この検査が1歳未満に適応とされるべき根拠がどこにもない
- 怪我をしてやってくる患者に固定をしたり、テーピングをすること
- 型にはまった方法で質問した上で、記録する点
- 知覚過敏は歯ブラシによるものとの考え
- パワハラを伴う先輩・後輩の上下関係
- いまだにお客さんのことを考えず、マッサージばかりするところが多いこと
- 全員参加の社員旅行や余興、グループ活動が多過ぎる

## ▼ 専門家(士業・FP・コンサルなど)

- 年齢経験値とキャリアを前提としたポジショニング
- 年齢序列による給与体制、昇格人事規程
- 生保業界は女性職員の職域訪問や個人宅個別訪問などは古い常識だと思う
- 障害年金の申請サポート業務を行っているが、申請手続きは未だに年金事務所（街角の年金相談センター（日本年金機構が運営）含む）へ出頭して提出するか、年金事務所への郵送に限られている
- 長時間労働が美德とされており、残業するほどやる気があるとみなされること
- 未だに紙の媒体でやりとりをしている

## ▼ 個人投資家

- 仮想通貨の規制は発展を妨げるものとされ嫌う風潮が強かったが、現在では適切な規制がむしろ市場の信頼性を高め、大規模な機関投資家を呼び込むと認識されるようになった
- 暗号資産の業界で、政府は規制の対応が早く、税制改正の動きが遅い
- ファックスを使って連絡すること

## ▼ その他

- **アスリート**
  - ・ 昔は上下関係の厳しさを少し感じたが、それも今思えば大切な要素だった
- **情報通信業**
  - ・ IT業界の業務委託は、多重請負構造であることは古くから続いており、現在では改善が進んでいる中でも3次、4次受けが未だ存在している
- **翻訳**
  - ・ ワードではなく一太郎やフロッピーディスクにこだわる人も多い
- **占い師**
  - ・ 電話占いのため、電話という風習が古いのかもしれない
- **パーソナルトレーナー**
  - ・ 体育会系のため、先輩に対してや後輩に対してなど縦社会がすごくあると思う
- **サービス業**
  - ・ 業務に応じた出来高制の報酬ではなく、時間の切り売り（時給制。同じ業務でも人によって仕事のスピードが違うのに時給制で計算をするため、仕事が遅い人の方が収入が増える）（拘束時間。業務のスピードや質ではなく、無駄に時間で拘束したがる）
  - ・ アップデートしきれていない情報や、古い体育会的体制
- **製造業**
  - ・ 職人の世界で教えないという風習
  - ・ 仕入れ先や卸先も未だに受発注がFAXのところがある
  - ・ 個人事業主が転職する際に元請けの付き合いの兼ね合いで移籍しづらい
- **ITエンジニア**
  - ・ PC上のファイルで二重管理が行われたりしていること
  - ・ システムを製造する過程で成果物として残るドキュメントが、ここ20年くらいはExcelで作成されており、現在もほとんどの現場で、その傾向がある（ここ10年で、Confluenceのようなwebベースのツールも使用している現場もあるが、Excelとの併用ケースが殆どになる）
- **電気保安管理**
  - ・ 副業は禁止、固定電話を引かなければならない等

## ● システムエンジニア

- 口頭、対面でのコミュニケーションを第一とする取引先がある

## ● 保険募集人

- 保険会社からの出向社員による、個人情報の扱いに不正があった

## ● 空調設備

- 普通にサービス残業と休日出勤があった

## ● セラピスト

- 師匠や協会の縛りが多く、彼らの言う事は絶対

## ● イベント業

- クライアントの意向が一番であり、現場での判断が出来ない

## ● 外部講師

- 昭和的な根性論の指導しかしない指導者がいる

## ● 教育業

- 日本語より先に外国語を学ぶのは良くないと思っている人が未だにいること。外国人講師に対する差別的な表現が未だにあること

## ● 翻訳、校正

- プリントアウトで紙を大量に使用すること

## ● 音楽教室経営

- お月謝を渡す時は新札にしないといけない

## ● 教育サービス業

- 塾で働く人は生徒のために年末年始、特に受験前は休みを返上して勤務している

## ● 映像企画制作

- 人脈頼みのキャスティングや企画。スポンサーへの依存体質

## ● フリーランス

- 契約書などで過去に事例がない、という事で検討せずに決めてしまう事が多い

## ● 代理販売業

- 派閥的にグループ単位で縦社会になっており、横つながりのサポートをよしとしないトップリーダーがいる

## ● 造園

- 職人の日当が15,000と30年以上変わらない事

## ● 金融業

- デジタル化が進んでいる一方で媒体がかなり多いこと

## ● アニメーション監督

- アナログ時代のアナログだったため、そうしなければならなかったものがいまだにある

## ● 情報通信業

- DBや開発ツールが古いものを使用しているケースがある

# 長年続く風習、慣習

— ご自身の業界で、長年続いている変わらない風習や慣習の具体例を教えてください。

## ▼ 美容業

- 客とは話せ、客にはっきり言わないこと
- 中型店などでよく見られるが、たった1人のお客様の為に、スタッフ全員が残業すること
- お客さんが自分ことを先生と言うこと
- 労働開始時間が役職によってまばらなこと
- 学校卒業して免許取っていてもほとんど何もできないため、レッスンが必須
- 朝早くからや夜遅くまで無給で技術練習する
- 教育カリキュラムが全くと言っていいほど変わっていない
- 見て覚えろや技は盗めをまだやっているところも多い
- ミーティングや練習など、みんなでやる事が未だにある
- 関西なら月曜定休、関東なら火曜定休
- 業者さんとお金の金額を数字じゃなく、この業界の言葉で話す
- ご飯を食べる決まった時間がない
- 施術にかかる時間によるため、サービス残業が多いと思う。受付時間ギリギリの予約だと、どうしても営業時間内に終われない
- 勤務時間外の練習などは手当がないこと
- 朝早く来てレッスン、夜の営業終わりにレッスン、休みの日に自腹で講習会に参加
- 休みが比較的少ないところや給料体制など
- 土日に休みづらい。冠婚葬祭に出席しにくい。出産後に復帰しにくい
- 後片付けはアシスタントの仕事という考え方
- 未だにお客さんのカルテを紙を使って管理している
- 動画やオンラインセミナーが増えているのに店舗の先輩の教えが正解ということ
- 昼休憩はお客さんの来店に合わせるため取りづらい
- 理美容業界で定休日が月曜日であることが多い
- お客様にどんな時も、お疲れ様でした！の一言。今でも普通に言っている
- 上手ければ店は流行ると技術至上主義な考え方

## ▼ 飲食業

- 食材の旬を大切にし、季節ごとのメニューを提供すること
- 営業時間や、定休日は明記しているにもかかわらず、来た時に空いてなかったと苦情を言われる
- おもてなしの心、接客の際には常に礼儀正しく丁寧な対応を心掛けると言うこと

## ▼ 小売業

- 登録上で大切な書類であるのにチェックは全て人が行う
- 登録した印鑑によって複数の伝票を割印で繋ぐ
- LINEを使っておらず、連絡がつかない
- 成功した方のコンサルを受けてノウハウを身につけて独り立ちする
- 会議をオンラインで行わない
- 既存の製品をパッケージだけ変えてオリジナル商品にして販売する手法や成功事例をもとにコンサル販売する
- EC業界では、「送料無料＝売上増」という考えが根強いが、近年では送料有料でも品質や独自性を重視する消費者が増えている
- お客様の予約を受ける際に、電子ではなく、紙に書いて予約を受けることが多い
- 見積もりなどはデータでは無く、書面を利用している

## ▼ 建設業

- 全員で集まって朝礼を行い、その後ラジオ体操をする
- 現場での週一回の全体清掃や安全パトロール
- 仕事は、教えてもらうより見て覚えろという考え方
- 年功序列みたいなものがある。先輩たちには逆らえない
- 水道、ガス、電気業者は立場が低いイメージがある
- 10時と15時の休憩時間が長くなりがち
- 土地や家の売買時のあいさつ回りや地鎮祭など
- 無駄の多い朝礼。作業に全く関係のない業者まで参加させた上に、新規入場の作業員の挨拶等、大手になればなるほど長い
- 新しい技術をあまり覚えようとしにくい事が多い。職人氣質の人が多く
- 工期絶対主義においての採算度外視の契約前行動
- 仕事の出来ない人には周りに人がいようがいまいが怒鳴りちらす

● 髪の毛の色が奇抜だとか服装が派手とか容姿のことを言いたい人が多い

● くわえタバコやヘルメット無しの方がいまだにいる

● ミーティングの種類が多いこと

● 個人事業主なのにスケジュールを全て管理され他の仕事を取れない、それでいて単価が安いから奴隷のような状況になっている

● 現場作業での年齢差の空気感など、今でも変わらないことです。

● 見て覚えろ、気合いだせ。です 機械など操縦するとき 感覚で覚えなれないといけないのは 分かるのです

● がどこがダメで、ここは良いなど 具体的なアドバイスを行わないところ

● 若い人達の方が新たな常識と新しい情報量を持っている可能性を考えず、上司や先輩が今までやってきたやり方を正しいと思い教えている

● ゼネコンの所長の独自ルールが多すぎる

● お酒の件で言うと、先輩上司からの誘いは断ってはいけないこと

● 接待して仕事をもらう古い常識、キックバック

● 現場では命の危機にさらされて働いているため怒号が絶えない

● 残業代が曖昧で、つかない会社が多いと思う

● 職人技は、日本が一番良い物を作ることは変わらないと思う

● 朝のラジオ体操。休憩中に打ち合わせがあること

● 出勤時間か他の業種に比べて早い

## ▼ 運送業

● 納品先の倉庫や店舗の梱入れまでドライバーが行う事や集荷先でのピッキングや梱包をする事

● 多くの運送業者では、荷物の受け渡し時に手書きでサインをもらうことが慣習となっている。手書きのサインをもらうことは、時にミスや誤解を招く原因となり、後でトラブルが発生することもある。

● 最近では、タブレット端末での電子サインが普及しつつあるが、古い慣習が根強く残っている企業も多い

● 普段は労働時間より生産性の数字だが、年度末になると生産性より労働時間を叩けとなること

● 繁華街や官庁界隈での夜間の着け待ちをしてお客様を待つ

● 朝早くから夜遅くまで働くことが当たり前になっており、効率化が進んでいない

● 報告書が手書き。直帰の場合はファックス

● コールセンターはお客さんの無理な要望も何でもはいはいと受けてしまう

● 休憩がなく、サービス残業的な荷主の言いなりがある

● 実際はなんの影響もないのに客からの評価を気にする人が多い

● 下請けの連鎖により中抜きされ過ぎて運賃が低い。間に何人が関わってるか分からない

● 拘束時間関係なく、仕事が終わる次第すぐ帰っても大丈夫な環境のところが多い

● 朝の朝礼、会議、若い人が運動したり気をつかう

● 年配のお客さまでは対面渡しが普通になっている

● 荷物の積み込みなどを行う際、経験年数が長い同業が現場を牛耳っている

● 顧客重視、あいさつ重視、コミュニケーション重視

## ▼ 不動産業

● 一人ひとりのお客様との会話を重視し、希望に沿った提案をこころがける

● 男性と女性では、やはり男性を支持してしまう

● 敷金・礼金があり、広告料を支払った方を優先して紹介される

## ▼ WEBサービス業

● 紙を見ての確認作業が基本であり、分析などができていないこと

● 多重請負構造。クライアントと案件従事者（エンジニア）の間に、仲介会社が入るが、この仲介に複数の会社が介在する場合がある。複数の仲介会社が入ると、中抜きによって、エンジニアの取り分は減る。また、商流が浅かったとしても、非常に不透明な仲介会社も存在しており、不誠実な仲介会社だと、クライアントと仲介会社間では、かなり好条件の契約を結び、仲介会社とエンジニア間では、悪い条件の契約を結ばせるようなケースもある。

● インシデントが発生するたびに、人手による確認をしがち

● 「契約内容を紙で保存」が続いており、デジタル化が進む現代には非効率

● 出る杭は打たれるような風習、文化があり、若手の芽を摘んだり、挑戦を笑う文化があるように感じる

● クライアントがある程度の販促費（無料サービス提供含む）を注ぎ込まないといけない

● 仕事はプラットフォームありきでプラットフォームの規約（ルール）に沿って対応しなければならない

● オンラインイベントなども増えたが、やはり実際に会えるイベントなどは重宝される

● 会議が多い、会議をしても結論が出ない方がある

● 頻繁なタバコ休憩が許されていること

● 他人のコンテンツを参考にしながら作ったものでも、引用やリンクを記載せずに自分が考えたかのように振る舞うこと

● 開発プロジェクトで納期が迫ると、徹夜や長時間労働が当たり前になる風潮がある。特に大規模案件

● や納期が厳しい案件で見られることが多い

● プロジェクトの締切やリリース日程に追われることが多く、結果として長時間労働が常態化している

● 「手動作業が確実」という考え方。現在は自動化ツールやスクリプトが主流で、効率と正確性が重視されている

## ▼ 医療業・福祉業

● 若い頃から、医者を過剰にもり立てる文化

● 保険診療において、新しい認可を取る際等に決まったメーカーからしか、器具が仕入れられない

● いまだに印鑑や紙での認証が多すぎる

● 聞きたい質問を電話で問い合わせると、faxで送ってくださいと言われてしまう。メールでの対応は行っていない

● 長時間労働や、安月給の所が未だに多くある

● 接骨院、整骨院での保険の不正請求などが続いている

● お正月になると既存の患者様に対しての年賀状

● 学会、研究会の多さ。製薬会社からの接待のような交流会

● 治りもしない電療を健康保険での請求の為に行う

● 医薬分業といってるものの、実際は門前の医療機関とのつながりがある

● 昔のやり方にこだわり、行間常識が常に更新されていていっているのに、勉強不足なところが多い

● カルテや報告書など、紙媒体が多いので保管場所が必要になる

● 行政主導の法規制があり、公定価格など決められている

## ▼ 専門家(士業・FP・コンサルなど)

● 一部の人間は古い習慣のために業務が遅く解職になるものもいる。ペーパーレス推進なのにいつまでも紙ベースでの業務

● 年末のご挨拶にカレンダーを配り合っている。デジタルの時代に不要だと思うが、実施している企業が多い

● アナログマーケティングにおけるアプローチ

● 習慣というわけではないが業界構造がずっと変わらない。大手が業界団体を支配しているため個人営業の人が置いてきぼりになっている

● 団体役員を持ち回りにより、半強制的に役員にならなければいけないこと

● 保険代理店は別かも知れないが、大手生保会社は主婦を募集業に勧誘し、親戚友人を勧誘し、成績が上らなくなるとある意味で使い捨てにする

● 私自身、障害年金の申請サポートに特化しており、他の社労士業務に関する知識がないものの、オンライン化されているものもあると聞くと、こと障害年金に関しては、そうしたデジタル化が図られているとは言えない

●個人情報保護法がある中、オフィスには引き出しはなく、ラテラルという鍵付きロッカーに資料を保管する

●上司が帰宅する前に、部下が帰宅をすることを良しとされない

●LINEやメールではなく書類でやりとりする

## ▼ 個人投資家

●仮想通貨は怪しい、危険という常識。今やアメリカ時期大統領トランプが打ち出している暗号資産政策の発展は世界を巻き込み急速に成長すると思う

●暗号資産の税制改正のスピードが遅すぎる

●現金集金、もう時代にあわない

●証券会社の窓口や電話で株の売買をするということ

## ▼ その他

### ● アスリート

・先輩優先は変わらない。何があっても試合の中以外は年功序列

### ● 情報通信業

・多重請負構造であり、3次受け、4次受けなどは今でも存在し、会社がある分だけ利益がピンハネされ、末端はほとんど利益がでない

・ドキュメント重視の文化や長時間労働の風潮、納期厳守が最優先という考え方が残っている場合がある

・朝礼にて社是の唱和やフリーのお題でスピーチさせる等々

### ● 翻訳

・納品データをフロッピーに入れないと受付けてくれない事務所がある

### ● 保険業

・一部の会社の営業は知識がないため、接待のような形で契約をとる

・営業成績を掲示し、成績計上を煽るやり方

### ● 占い師

・電話で申し込みして仕事を受けること

### ● パーソナルトレーナー

・業務時間外も早くきて清掃や雑務などをし、先輩達が頑張っている時は早上がりの日でも帰る雰囲気になれないことがずっと変わらない。早く来なかったり、早く帰ったり、すると熱量がないととらえられる風習がある

### ● 便利屋

・人のお客様をとらない、あの人に頼むべきなど、地域性はある。選択するのはお客様なので、多様性に合わせて丁寧な対応に心がけている

### ● 保険

・長年続いている変わらない風習や慣習は、対面した際の記録を書類に記入して保存

### ● サービス業

・はんこ文化（電子化が進む中でもハンコを求められるケースが多く、書類に印鑑を押すことが求められることがまだ残っている）

・クライアントとの信頼関係重視（多くの場合、初めての仕事はトライアル期間を設けて相性を確認することが一般的）

・ボランティアが当たり前で、手弁当で事業を手伝うべきという風習

### ● トラベルフィンテック

・使用するシステムが搾取するサービスから成り立っている

### ● 製造業

・教えないという伸ばし方で伸びるのが正解と思ってる古い考えの人が多い

### ● IT

・工数単位での考え方。何時間やっていくらって、時間単位でしか考えていない

### ● ITエンジニア

一部ではありますが、師匠からの電話・ライン・メ

・IT開発の業界において、要員の扱いが人月単位（例：1人月〇万円等）で扱われている

### ● 電気保安管理

・作業の応援に行ったら、現金手渡し

### ● システムエンジニア

・取引先の業界が幅広いため、逆に自身の風習というのがないのかもしれない

### ● 保険募集人

・出向社員のコストを代理店負担させず、代行社員として、当該保険会社の販売促進が行われている

### ● 製造業

・どう考えても倍の量を一気に作った方が効率的なのに今までそうだったからと変えない

・業者間移動や元請けを飛び越して仕事を受注できない

### ● 技術サービス業

・現場に毎日いるわけではない上司が現場で働いている部下の評価をするというのはずっと変わらない

### ● 空調設備

・夏場の繁忙期に休みが取れなくて働き通しになること

### ● セラピスト

・師匠からの電話・ライン・メールは最優先しなければならない

### ● イベント業

・現場に向かう当日の連絡報告を電話のワンギリやメールですること

### ● 外部講師

・規律を破ったら罰がある。罰走的な習慣がある

### ● 教育業

・会話に重点を置きたくても、ある年齢から英検至上主義になってしまって結局文法や単語の強化に時間を割くようになってしまう

### ● 翻訳、校正

・仕事の依頼の際、単価を知らされないこと

### ● 音楽教室経営

・お歳暮、お中元、御礼は適宜先生にするべき

### ● 教育サービス業

・生徒のためにが強く、休日出勤が受験前など繁忙期に多くなる

### ● 映像企画制作

・長時間労働は当たり前文化、下積みを強調する文化

### ● フリーランス

・契約書などで問題点を過去事例がないだけで済まそうとする体制

### ● 代理販売業

・縦繋がりの重視

### ● ITエンジニア、コンサル

・多重下請け構造や、技術派遣で、ピンハネする派遣会社の存在。

### ● 造園

・職人の日当が15,000と30年以上変わってないこと

### ● 金融業

・顧客のアフターフォローで年賀状や暑中見舞い

### ● 請負業

・体育会系の業界と言う事は昔から変わらないと感じている

### ● 外国語通訳

・まだ書類で情報を保管し続けている

### ● アニメーション監督

・アナログでフィルム時代の様式美をいまだ引きずること

### ● 不動産賃貸業

● 囲い込み、と言いつつ売主から売却の依頼を受けた不動産業者が他の不動産会社を通して来た買主には紹介せず、自社で買主を見つけること。紹介料を売主と買主から両方貰えるため

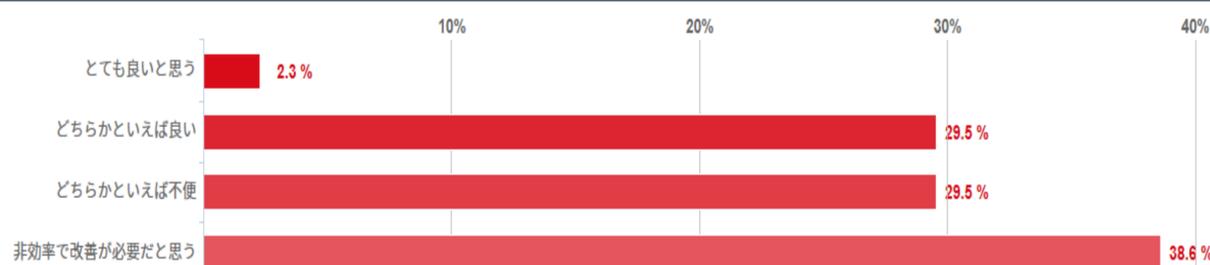
## ● 電気工事業

- ある程度大きな会社になると独自の仕様が有り、その仕様の内容が昔のままで、今にあまり対応できてない

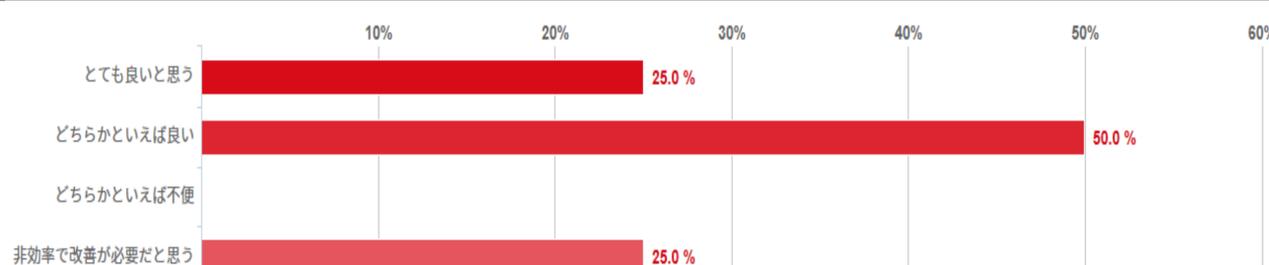
# 風習、慣習に感じていること

— 業界特有の風習や慣習に対して、個人的にどう感じていますか？

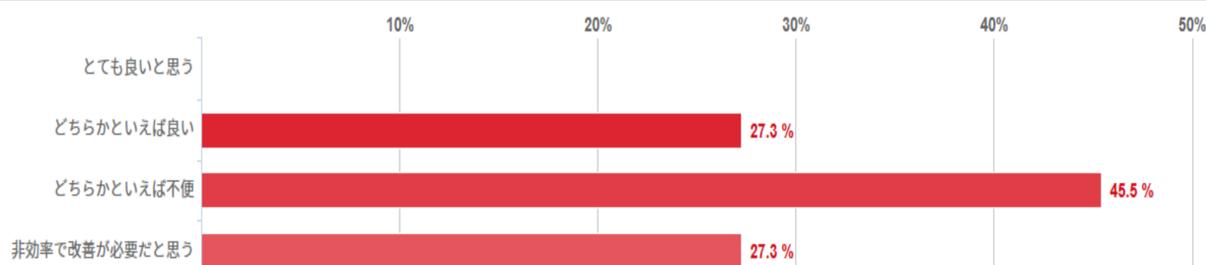
## ▼ 美容業



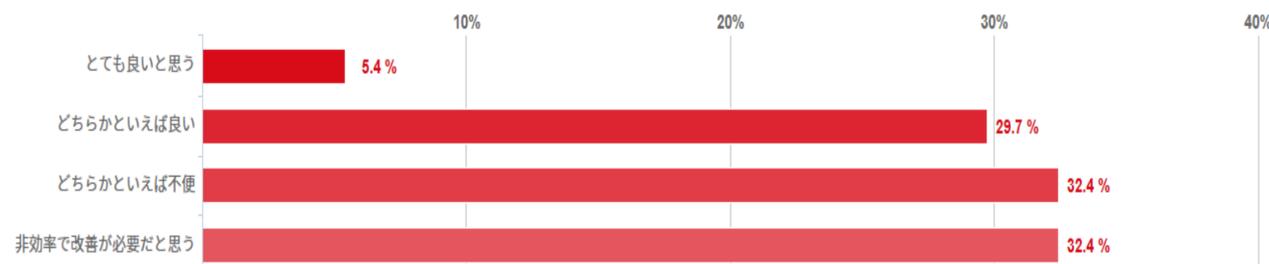
## ▼ 飲食業



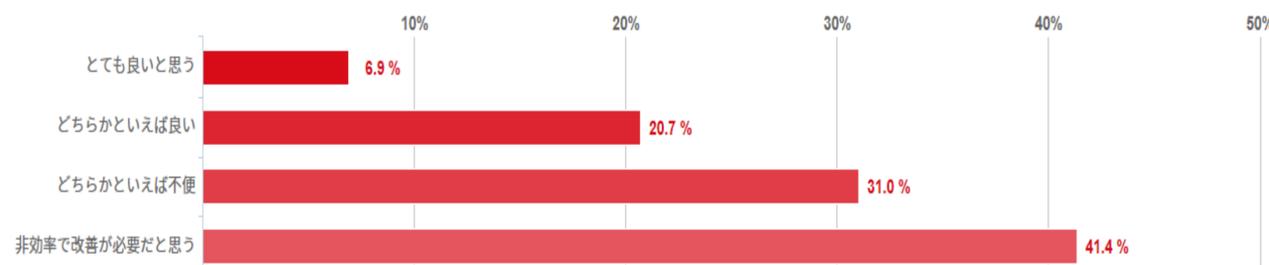
## ▼ 小売業



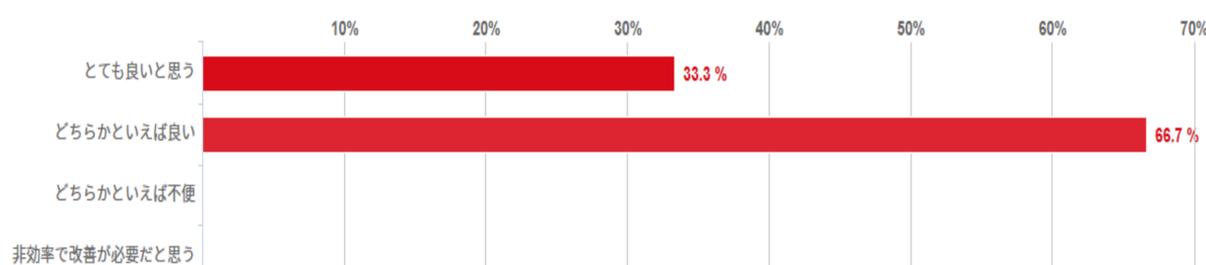
## ▼ 建設業



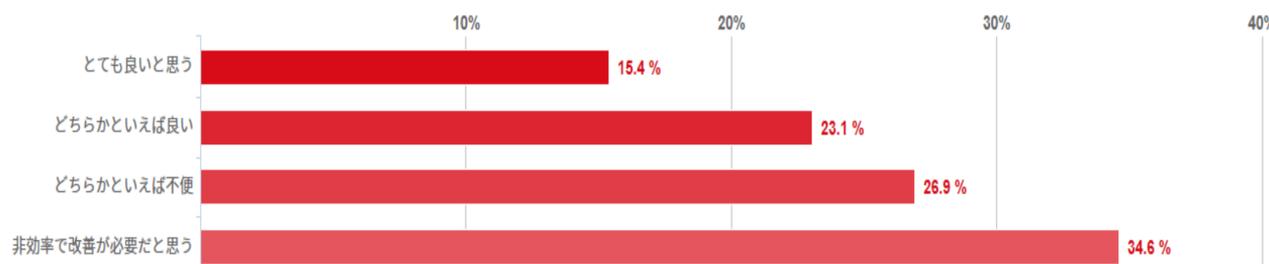
## ▼ 運送業



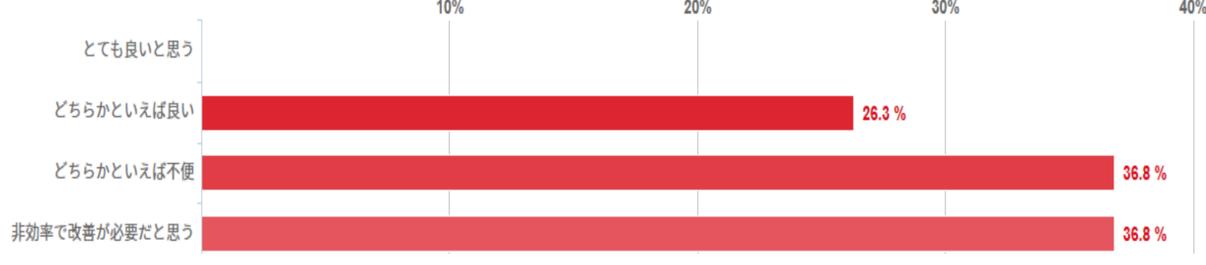
## ▼ 不動産業



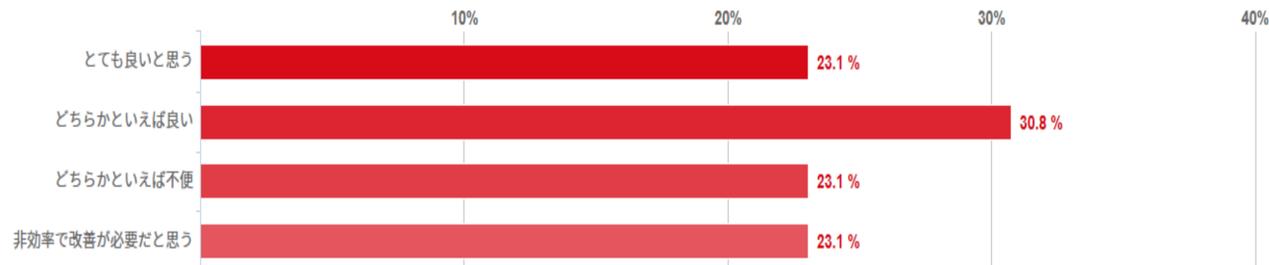
## ▼ WEBサービス業



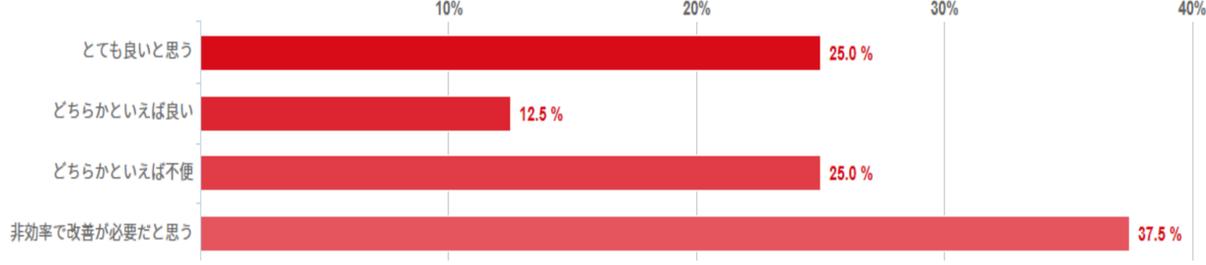
## ▼ 医療業・福祉業



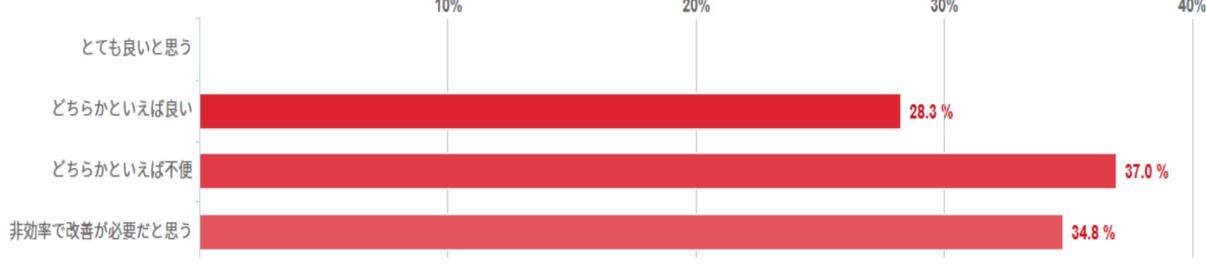
## ▼ 専門家（士業・FP・コンサル）業



## ▼ 個人投資家



## ▼ その他

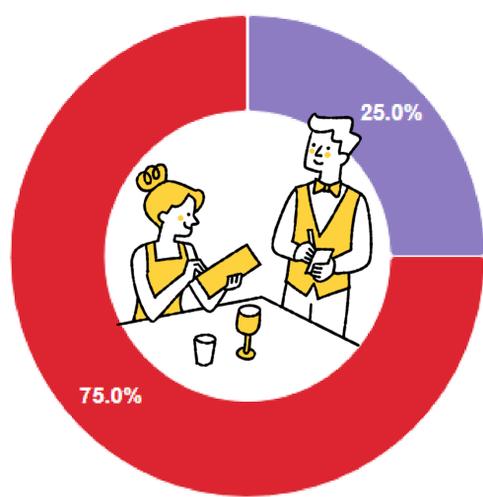
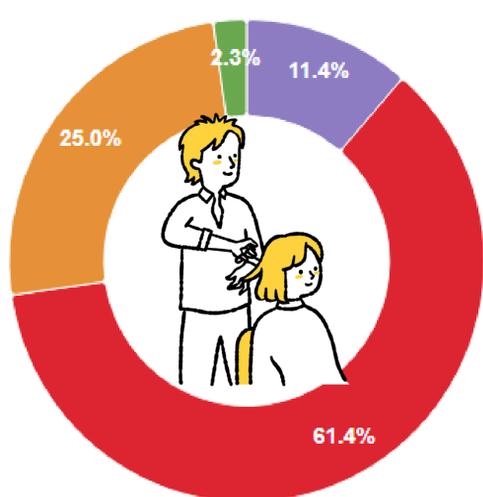


# 非効率に感じる風習

— あなたの業界で「特に非効率だ」と感じる風習はありますか？

▼ 美容業

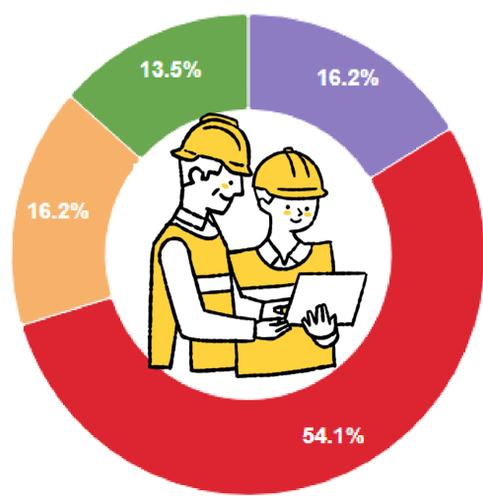
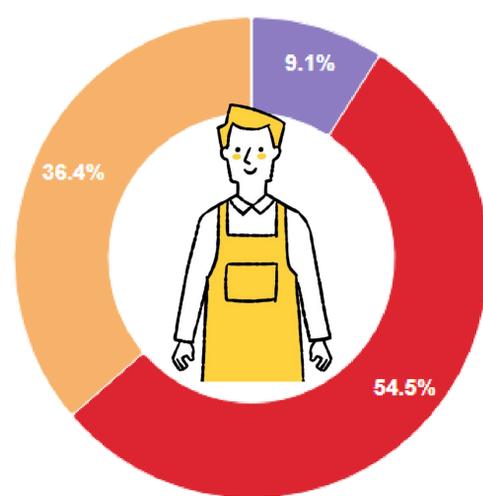
▼ 飲食業



● 多くある ● いくつかある ● ほとんどない ● 全くない

▼ 小売業

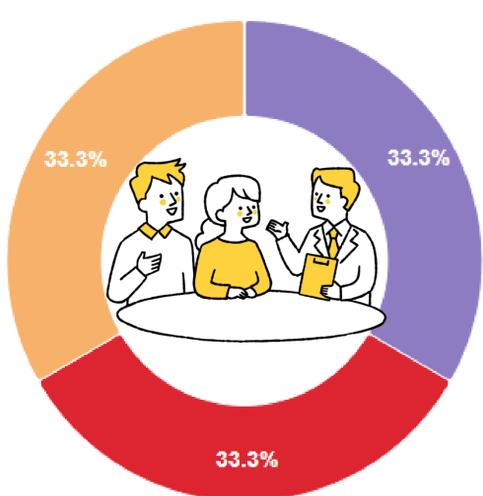
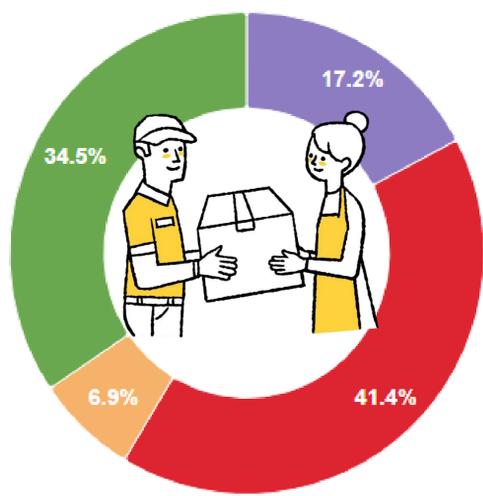
▼ 建設業



● 多くある ● いくつかある ● ほとんどない ● 全くない

▼ 運送業

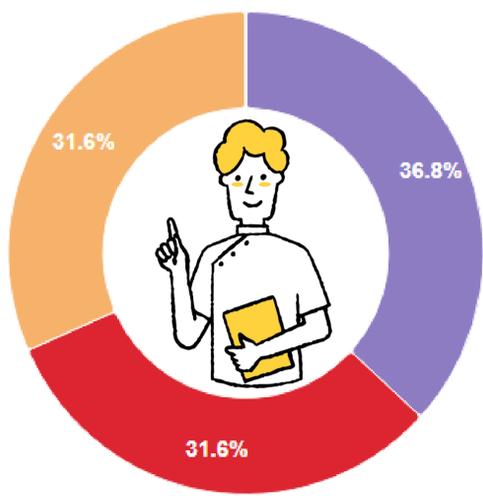
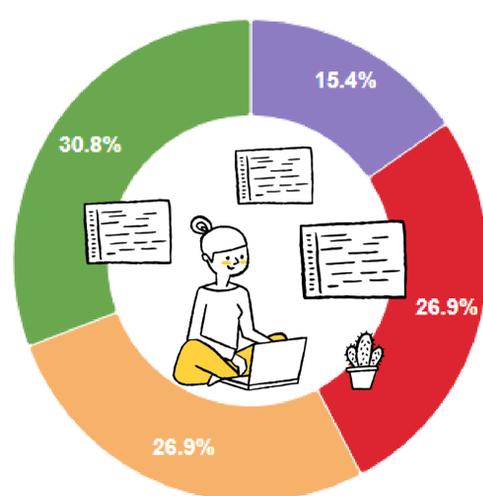
▼ 不動産業



● 多くある ● いくつかある ● ほとんどない ● 全くない

▼ WEBサービス業

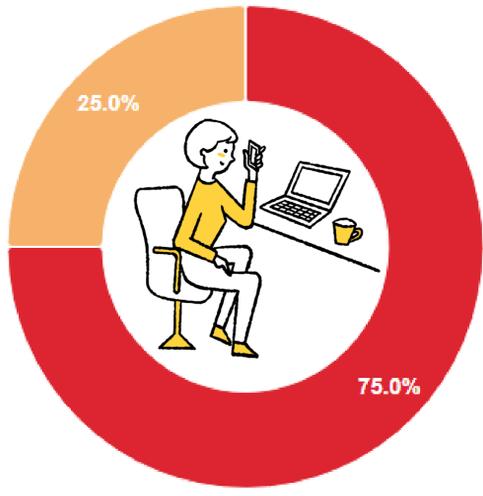
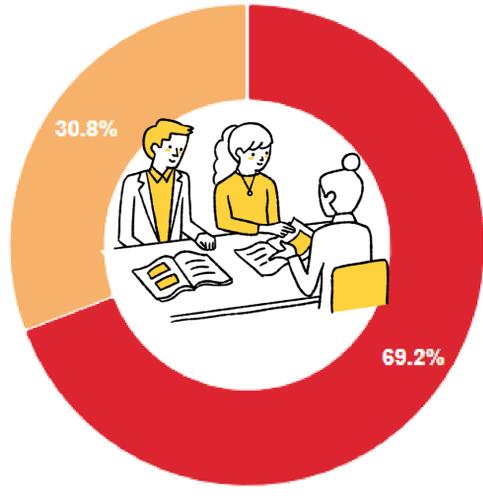
▼ 医療業・福祉業



● 多くある ● いくつかある ● ほとんどない ● 全くない

▼ 専門家 (士業・FP・コンサル)

▼ 個人投資家



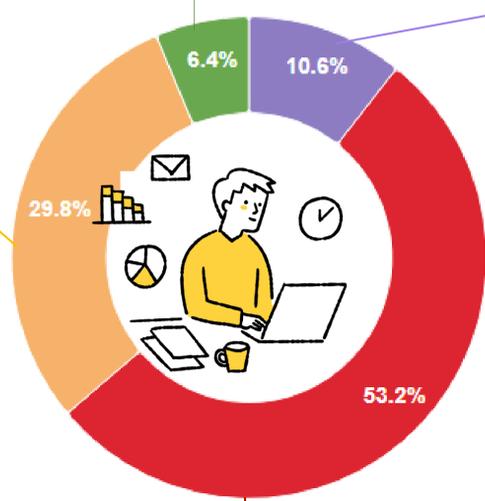
● 多くある ● いくつかある ● ほとんどない ● 全くない

▼ その他

- ほとんどない**
- アスリート
  - 占い師
  - サービス業
  - ITエンジニア
  - システムエンジニア
  - 保険業
  - 技術サービス業
  - セラピスト
  - 情報通信業
  - 翻訳、校正
  - 映像企画制作
  - 保険代理業

- 全くない**
- 保険業
  - IT関係

- 多くある**
- サービス業
  - イベント業
  - フリーランス
  - ITエンジニア、コンサル
  - アニメーション監督



**いくつかある**

- 情報通信業 ● 翻訳 ● パーソナルトレーナー ● 便利屋 ● 保険 ● トラベルフィンテック ● 製造業 ● IT
- 電気保安管理 ● 保険募集人 ● 空調設備 ● 外部講師 ● 教育業 ● 音楽教室経営 ● 教育サービス業
- 代理販売業 ● 造園 ● 金融業 ● 請負業 ● 外国語翻訳 ● 不動産賃貸業 ● 電気工事業

# 非効率な風習の影響

—非効率だと感じる風習が業務にどのような影響を与えているか、具体例を挙げてください

## ▼美容業

- 時間が取られることが多いため、今後の時間の使い方に支障がうまれる
- スタッフに数字を任せること。それは経営者の仕事である
- その時間で、他の業務や事務処理、顧客対応などに転嫁出来る
- 美容室の料金が安くなっているところと高いところの違い
- ミーティングは議題をあらかじめ用意しておいてオンラインでも良いと思う
- スタッフが沢山いる時に、お客様が居なくて、忙しい時に、スタッフが居ない。
- 時間外の練習が定着すると、断れない雰囲気になる
- 料金体系が複雑・不明瞭な為、説明に時間がかかり、かつ不安要素になる
- 生産性が悪い、長時間労働、休みが少ないことなど
- 資格制度について、昭和から変わらないので見直したほうが良い
- 集まってミーティングすることとか、自分の時間を使わなきゃいけない
- 一番下の子がシャンプーをしている所は効率が悪いと思う。空いていれば上の人のもしてもいいと思う
- シャンプー後にサービスで軽いマッサージをするが、それが無ければもう少し回転率が上がると思う
- 夜に練習して次の日の朝の営業に遅刻するなど
- スタイリストが偉くアシスタントが下とゆうイメージが強すぎる
- 練習のカリキュラムのやり方。一人前になるまで3年くらいはかかる
- 時間に追われ、休む間も無く、精神的肉体的に疲労しいい仕事ができなくなる
- お昼時間などのお客様でご飯が取れずにお腹が空くと、作業効率が著しく低下する
- ママさん美容師が産後復帰しにくい。両立が難しい、復帰しにくい環境
- 価格帯が昔から固定されていて、ほぼ同じである事
- 若いスタッフが拘束時間が長いとモチベーションが下がりやすいと思う
- 国家試験の内容と実際にサロンワークで求められる内容が乖離していること
- お客様がまず先！ついでに何かやりたい時もお客様が先

## ▼飲食業

- 伝統的な手書きの注文伝票はミスが多く、効率が悪い
- お客様に合わせてダラダラお店を開けてとても非効率
- 手作業による管理、予約管理、売上記録等は時間が掛かる上にエラーが発生しやすい
- 少子化で飲食業は人員不足な事もあるため、接客を大事にしてる店舗は効率的によくはない

## ▼小売業

- 陸運局での手続きは現在も人がチェックするため、待ち時間が非常に長い
- 納付先によって求められる伝票の様式が違うから、それに対応する人的コストが非効率  
使っているプラットフォームがお客様第一を掲げている以上、お客様からのクレームに対してすべてを受け入れないと厳しいペナルティが課される。こちらの言い分は全くと言っていいほど相手にされないため、運が悪くクレマーに当たると損失を被る。全体として利益が出ていれば問題なしととらえるしかない
- 無駄な経費（人件費など）がかかっている
- 最初の販売先は有名プラットフォームに出すという風習。最初からオリジナル製品を作成販売した方が後々楽だと感じる
- 手書き書類や印鑑文化で時間を消費し、業務効率が低下している  
いまだにアナログな部分が多いところです。電子部分は多くはなってきましたが、電子に切り替えるとかなり経費がかかるとのことで断り続けられています。
- FAXでしかやり取りできない場合、その企業との取引のためにわざわざFAXを用意しなければならない

## ▼建設業

- 効率を上げる為に変えたい事でもなかなか変わらない
- 技術や手順が文書化されず、ベテラン職人の「経験と勘」に依存している
- 他業者との段取り組みの悪さ！同じ作業場所で他業者と重なって作業が全然進まない
- スケジュール管理が臨機応変にならないのでいつまでもぐだぐだ
- また覚える事も大事だが、教えて実際経験させることの方が効率がいいと思う
- 自分達の工程の日に行っているにも関わらず他業者の人たちが関係ない様な感じで作業を行うので大変やりにくく時間がかかる
- 物件案内などは内覧等は別として、物件概要や立地の確認は非効率だと感じる  
先ほど書いた事から、作業時間が削られる、無駄に早く現場にいかなくてはならない等
- 機械を使えば、早くキレイな仕事ができますが、年配の職人さんは、手間のかかる仕事しかできない事が多い
- 事後発注による利益管理の不十分による利益低下
- 電話でしか発注してこない客 年齢層が高い人達はこのパターンが多いです ラインやメールで文章に残る様にしてほしい
- 新人の下積み期間の長さが定着率を下げている
- 元請けの監督のわがままで次の日も近くの現場行くのに同じ日にまとめてくれない
- たまに年配の人からの作業指示など、決めつけられること
- 工具など正式名称で言わず 業界用語で伝え 入りたての子が取りに行ったが分からず また聞き直してくる
- 接待をしている時間、次の日への仕事能力の低下
- 初心者いきなり地上50メートルの最上階で作業は流石に無理です
- そこまでないがやはり依頼していただいた家が出勤場所から遠いと非効率に思える
- 全く無いと答えているのに何を答えればいいのか分かりませんが、いろんな職人さんがいて、いろんなやり方があるので、それを見て学ぶ事も多くあり、非効率なことも不必要な風習も良くも悪くも影響を与えています。
- 休憩中の打ち合わせは、休憩がちゃんと取れない。トイレに行くと打ち合わせに参加できない

## ▼運送業

- 1件毎にピッキングや棚入れをする事で1日に出来る仕事の数が減って稼げなくなる
- ITを扱える人間からしたら非効率とを感じるが、扱えない人間のほうが圧倒的に多いため、非効率と思われるアナログ案件も、移行させる手間を考えれば効率的
- 修理品の預り書を手書きからデジタル化にすれば書く手間も省け時間も大幅に短縮する事ができる
- 忙しいときほど荷物が出来なく出発が遅れる
- 荷積みの段階で、センターでの商品ピックアップに時間がかかる
- 配達地図アプリの普及により配達件数や個数をリアルタイムで管理でき効率よく配達ルートの組み立てが出来るが、いまだに紙地図で配達している非効率な方が一定数いる
- 作業時間の増加と書類保管の手間、保管場所の確保
- 配達アプリにがあまりにもアップグレードしていない
- 作業効率が悪くなる若い人達がやめやすくなる
- 人それぞれ配達個数に限界があるのでそこは考慮してほしい
- 顧客重視により手待ち時間がありコントロールができない

## ▼不動産業

- 退去時の清掃費用や修繕費用の按分が不透明で、不動産屋サイドは出来るだけ修繕や補修を多く行いマージンを稼ごうとする

## ▼WEBサービス業

- 業務の手間を増やし効率化を妨げているため、良くない
- 手作業での確認に時間がかかり、結果として人件費がかさんでいる  
IT・ソフトウェア業界の多重下請け構造。クライアントと案件従事者（エンジニア）の間に、複数の仲介会社が介在しており、仲介会社の中抜きによって、単に、エンジニアの取り分が減るだけでなく、業務にも悪影響が発生する。たとえば、4次請けで働くエンジニアの場合、クライアント→1次請→2次請→3次請→4次請、という商流になります。ちなみに、4次請のエンジニアは、1次請あるいは、2次請の社員を名乗らされるが、実際は、業務を行う場合、前述の順番の商流になるため、業務上のやり取りが、伝言ゲーム的なやり取りになり、途中でやり取りが滞るとエンジニアのもとに連絡がおりてこない
- 自動化をしてもどこかで人手による確認が発生し、余計な手間や工数がかかる
- フリーランスという働き方など含め雇用形態の違いを理解せず契約している企業が多いため非常に働きづらい
- 関係者を動かすための一度しか使われない資料作りが低い生産性となっている
- マインドセットの根本から変えていかなければ成約につながらない
- セキュリティ担保で専用アプリやブラウザを導入しないとイケない
- リモート可能にも関わらず出社がデフォルトとなっている
- 何かしらの手順書やノウハウなど今後必ず役に立つ、必要であろう資料の作成を後回しにして、そのまま忘れ去られる
- チーム間のコミュニケーションにおいて、リアルタイム性が低いメールを使い続けている
- 「手作業での障害対応」は時間と人的コストを浪費し、根本原因の特定や改善活動に割くリソースを奪う

## ▼医療業・福祉業

- ペーパーレスを推進しているが診断書は紙ベースが多い
- 実際に診療を行う上で、治療の進め方やコスト面で無駄が出る
- 介護報酬の単価点検にものすごく時間がかかる
- 全ての業務をDX化しても、役所に対する請求業務に関する書類を大量に印刷しなければいけないため、印刷に膨大な時間がかかる
- 休憩時間が無駄に多くして拘束時間を増やす
- 熟練技術者が経験に頼った方法で技術を教えるため、体系化されていない。そのため、新人が習得するのに時間を要する
- 大学病院では研修医1年目は看護師から敵視される、というか上級医への鬱憤をはらすためのサンドバッグとなっている、というような看護師の対応を受けた場合、患者に対する適切な指示が通らなくなる場合もあり非常に非効率というよりもはや危険
- 毎日通ってもらう為に、包帯やテーピングをして、患者に治療しても治らないという気持ちにさせる
- 月に一度の勉強会が行われるが、中身が残念なことがあり、参加のために仕事を休むのに疑問を感じる
- カルテをいまだに手書きで書いてるところが多く、今は電子カルテもあり、情報の共有が楽なのに、患者さん情報などを他業種と共有する際にコピーを何枚もしなければいけない
- 複雑な報酬・請求業務 介護報酬制度や給付金請求手続きが複雑で、多くの時間を費やす。例:介護報酬の計算や請求業務に多くの時間を取られる
- 実際は望んでいないのに強制的にしいてくる団体行動やルールが多い
- うちの接骨院では10年ほど前から予約制にしました。その前は予約では無く来院された患者さんの順番で施術していました。予約制はすごく効率的で、患者さんの来院する時間帯を分散することができ、忙しい時間帯や暇な時間帯を無くすることができる

## ▼専門家(士業・FP・コンサルなど)

- 契約者保護の観点が大きいため、そのための業務が多いこと
- 購買リスト先の選定及びLTVの活用形がないこと
- 大手を前提として制度設計されることからtoo muchな規制になっているように思う
- 手書きによる請求書作成や、領収書作成後の郵送
- 対面での打ち合わせや出社を強要する風潮。通勤時間等、本来より業務に回せる時間が減ってしまう
- 保険を申請する際に、色々説明してから申請するが、ご本人が忘れる事がある

## ▼個人投資家

- 日本では仮想通貨に関する税制の高さや複雑さが非効率とされ発展を妨げている
- 証券会社の対面営業。営業マンの給与が発生し、さらには手数料の高い金融商品を顧客に販売している
- 現金集金だと責任の所在が曖昧になりやすい
- 暗号資産の税率が分離課税にならないことは発展の妨げ
- 暗号資産の投資が国内ではやりにくく海外口座を使わなければならないのが非効率だと感じる

## ▼その他

### ●情報通信業

- ・多重請負構造によって、発注元は高額な委託費用を払っていながら、末端の請負が受け取る金額が低い  
ため、品質のミスマッチが起きやすい
- ・昨今はあまり見ない例だが挙げるとすると、例えば過剰に会議が設定されると実務の時間が削られる。  
会議が多い理由のほとんどが情報共有で、意思決定の為の会議でない
- ・オンサイト作業 リモートで作業ができるのに、事務所に出勤する必要があるケース。通勤時間や服装  
を気にしたり無駄に考慮しなければならない

### ●翻訳

- ・納品をメールやオンラインで送るより、手渡しで受け取ることを義務としている

### ●保険業

- ・他の会社や代理店の営業マンが同様のレベルと思われて話を敬遠されてしまうこと
- ・会社の印象を悪くする事が顧客本位の契約になっていない

### ●パーソナルトレーナー

- ・勤務時間外での拘束のような感覚が多く、早く帰って休めず、次の日遅刻したり勤務中に疲れ果てて  
結局お客様の為にパフォーマンスが出ていない事をよくみる

### ●便利屋

- ・インターネットやIT化など、グローバルな対応は拒否的な方が多い

### ●保険

- ・書類を郵便で発送

### ●サービス業

- ・不要なミーティングは貴重な時間が奪われ、生産性が低下する。業務の属人化は、業務の停滞や特定  
の従業員に過度な負荷がかかる
- ・後任が見つからない。若手が手伝ってくれない

### ●トラベルフィンテック

- ・スタートアップ企業と言う所にフォーカスすると、人の入れ替わりが激しく、大概の場合、引き継ぎ  
などがきちんと行われておらず、何度手間にもなる

### ●製造業

- ・伸び悩んでる人がなかなか伸びない状況が続く

### ●IT

- ・作業をすすめたほうが早いのに、見積もりなど余分な工数がかかる

### ●ITエンジニア

- ・強いて言うならセキュリティ以外で新しいものを導入することがあまりない点。今まで使ってきたシ  
ステム、あるいは作ってきたものが、例え化石レベルに古くなったとしても普通に使えるなら新しく  
する必要はない、という考え方がある

IT開発の業界では基本的には、業務効率を最優先している業界のため、開発フェーズにおいて、非効率な業務はあまりと考えている。一方で、開発フェーズより手前の要件や開発内容を決めるフェーズでは、顧客側の方針が明確に決まらないケースが多々あるため、そのフェーズでの待ち時間（どうしても隙間時間が発生してしまう）などが、非効率だと思う

#### ● 電気保安管理

- ・ FAXでやり取りの風習があるが、送ったのに来てないなど、たまに水掛け論になる

#### ● システムエンジニア

- ・ 古いコミュニケーションのシステムや開発環境を取引先が利用していると、プログラムの管理ややり取りが非効率になることがある

#### ● 保険募集人

- ・ 乗合代理店に課される、比較推奨等において、記録を残す事が募集人の労力負担となっている

#### ● 製造業

- ・ 半分の量を二つ作って、一つに合わせる作業は二度手間で倍時間がかかる
- ・ 作業者が雇用条件が悪いせいでパフォーマンスがさがる

#### ● 技術サービス業

- ・ お店を回すリーダーの人によって店全体の雰囲気や、やり方がとても変わる

#### ● 空調設備

- ・ 繁忙期に休みがまったく取れないことによる仕事の効率低下

#### ● セラピスト

- ・ シフト制にもかかわらず、最後のお客様が帰られるまで早番の人も残る、シフトの意味がない

#### ● イベント業

- ・ 非効率な報告を行わせていることによる確認作業に人と時間がかかっている

#### ● 外部講師

- ・ ミーティング話がながい。上手くまとまらない

#### ● 教育業

- ・ 日本語より先に外国語を学ぶことに否定的な意見が家族や周りがあると、英語を学ばせていることに疑問を持ちながら通ってしまい、学ぶ姿勢に影響が出る

#### ● 翻訳、校正

- ・ 仕事の単価を知らされると収入に関する不安が生まれる

#### ● 音楽教室経営

- ・ お月謝の現金回収

#### ● 教育サービス業

- ・ 事務と講師で分かれているが、講師が生徒に関わる仕事を基本的に全て請け負っている。授業して、その生徒達やその授業にかかる事務、保護者対応、教務研究と時間のかかる業務量。講師の業務量が多い。離職率が高く、人材定着しない。業界的に人気は高くなく人材確保が課題

#### ● フリーランス

- ・ 一つの業務や契約を遂行するときに、複数の人員が関わると話が正確に伝わらない

#### ● 代理販売業

- ・ 縦横関係なくネットワークを持てば広く情報共有が可能

#### ● ITエンジニア、コンサル

- ・ 設定内容のパラメータを技術者でチェックしている、作業工数と間違いの可能性がある

#### ● 造園

- ・ 仕事量が落ちて、人件費が掛かる

#### ● 金融業

- ・ 紙媒体、特にパンフレット等の改訂がかなりある

#### ● 請負業

- ・ 1度言ったことはもう1回聞かないでと言った昔ながらの風習。古い人間はもう慣れたが新しく入る子達は慣れないことも多く、それで辞める人たちも出るのが現状

#### ● 外国語通訳

- ・ 上司の物事の解決対策が悪いと思う

#### ● アニメーション監督

- ・ 時間と手間がかかって意味がない事が多い

#### ● 不動産賃貸業

- ・ 電話や封書による、マンション販売の勧誘

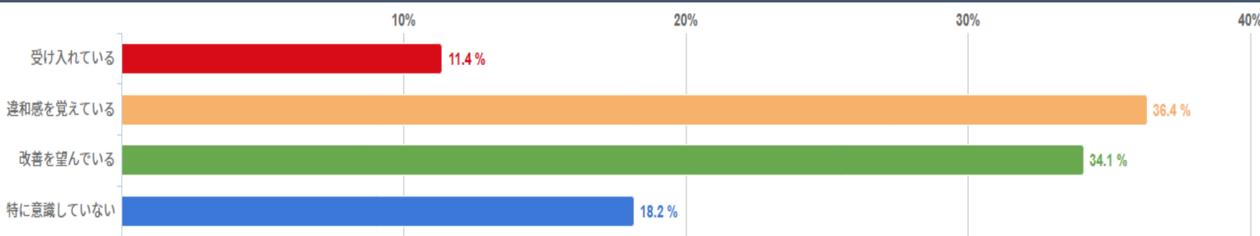
#### ● 電気工事業

- ・ 電氣的に扱う製品もデジタル化が進み、かなり融通性が有るのに、現場サイドではあまり好まれない

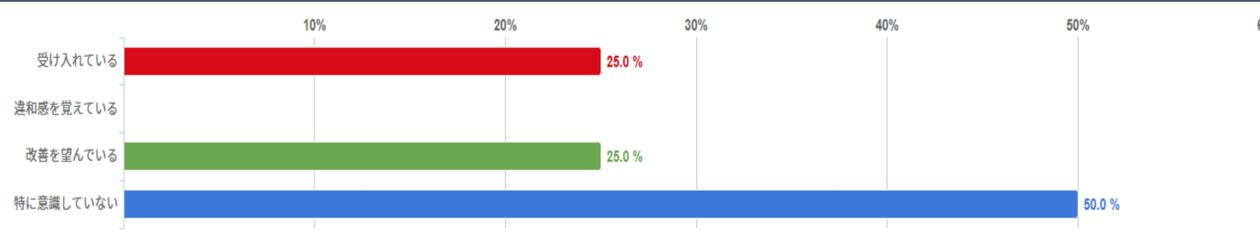
## 若手が風習に感じると思うこと

—新しい世代（若手）が今の業界の風習や習慣についてどのように感じていると思いますか？

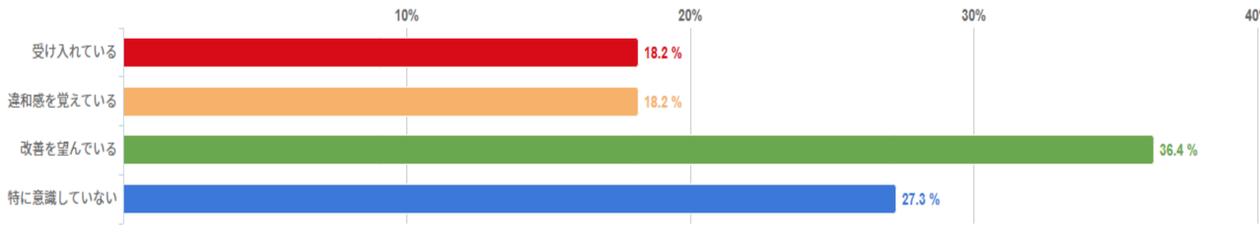
### ▼ 美容業



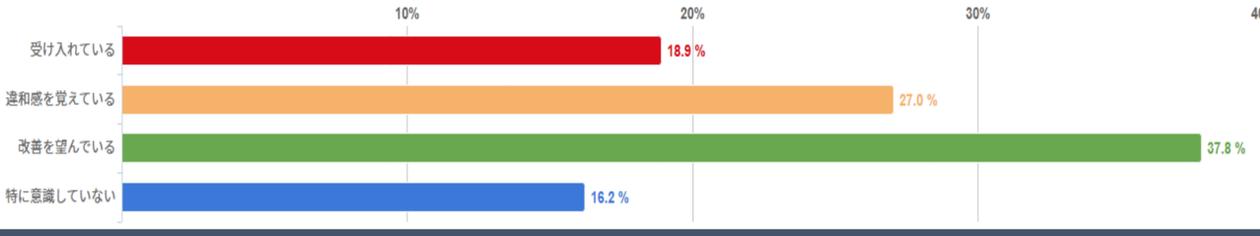
### ▼ 飲食業



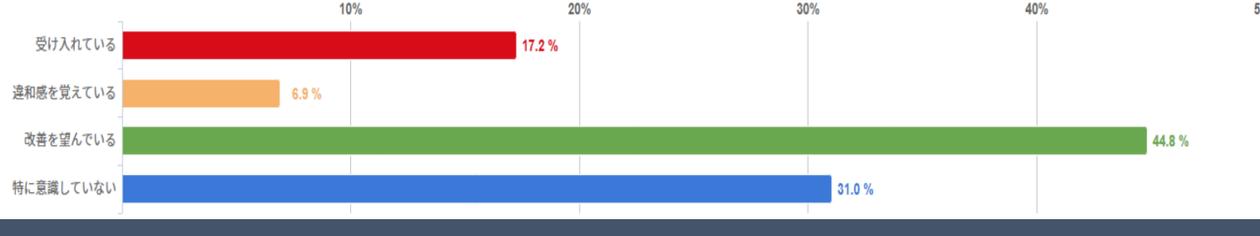
### ▼ 小売業



### ▼ 建設業

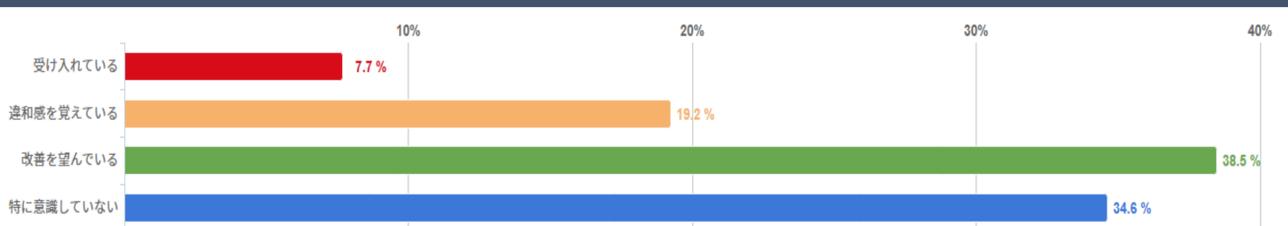


### ▼ 運送業

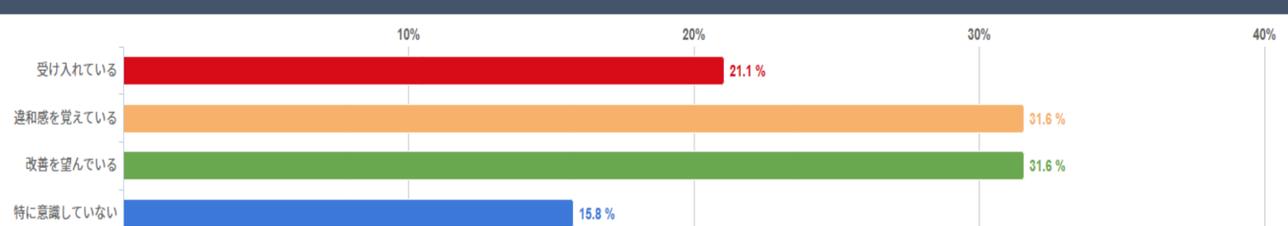


### ▼ 不動産業





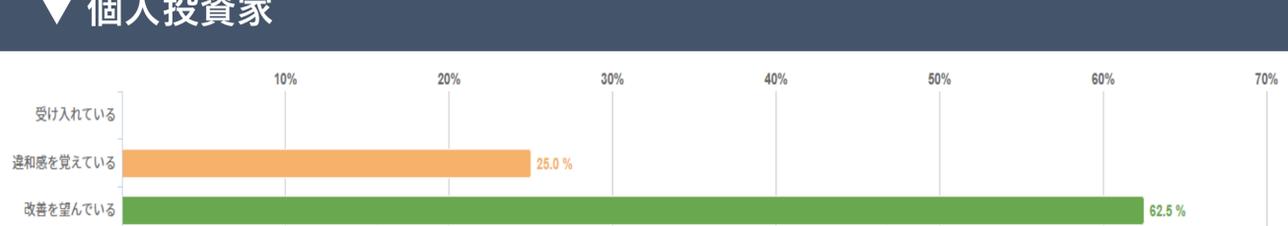
### ▼ 医療業・福祉業



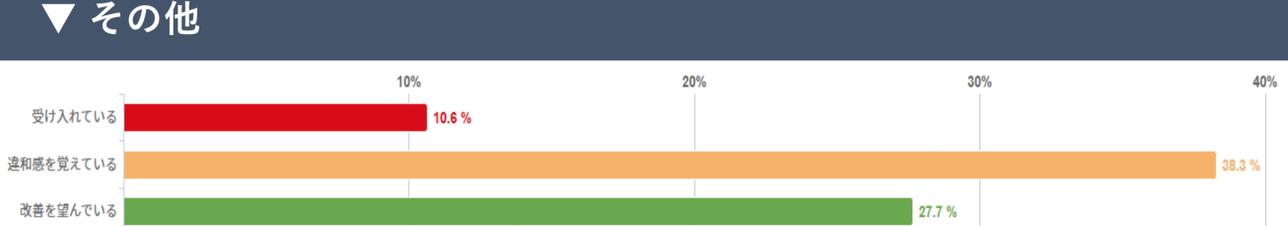
### ▼ 専門家（士業・FP・コンサル）業



### ▼ 個人投資家



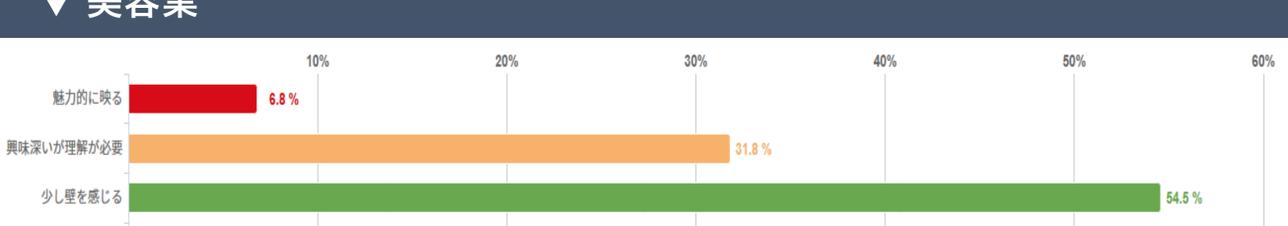
### ▼ その他



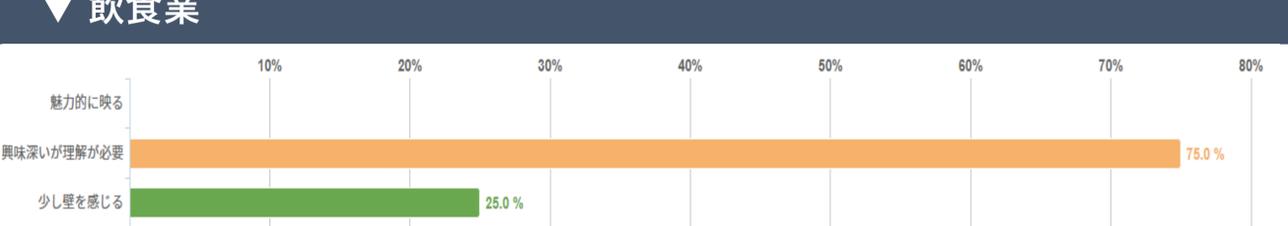
## 新規参入者が風習に感じると思うこと

— 新規参入者にとって、業界の風習や慣習はどのようにうつると思いますか？

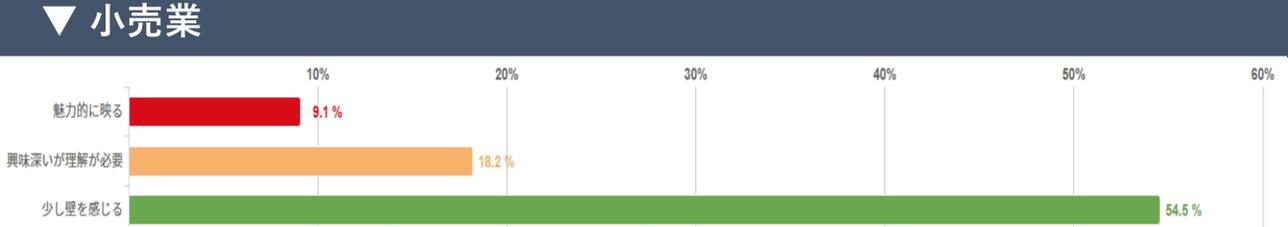
### ▼ 美容業



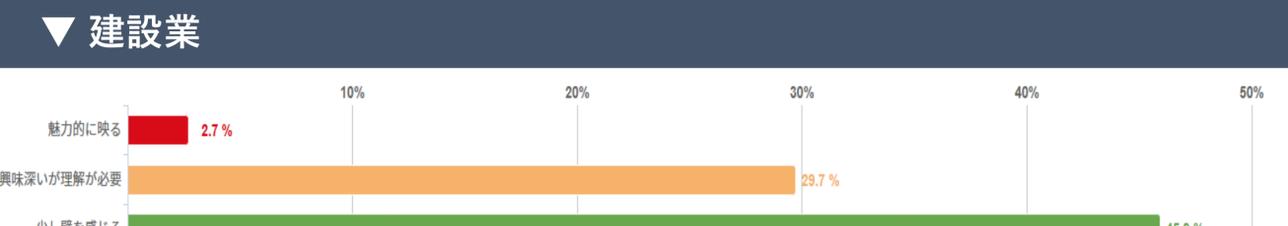
### ▼ 飲食業



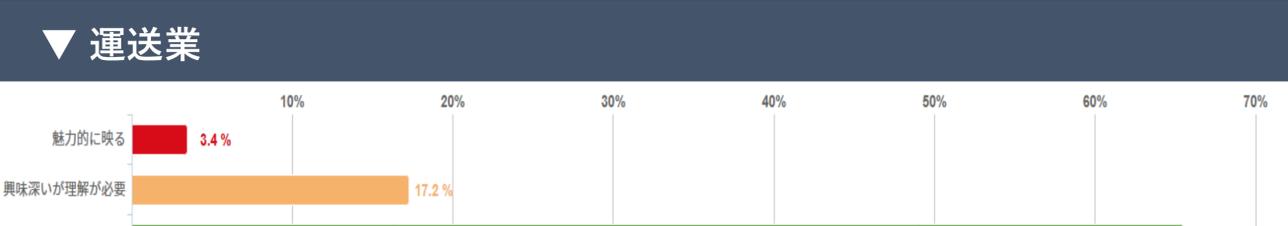
### ▼ 小売業



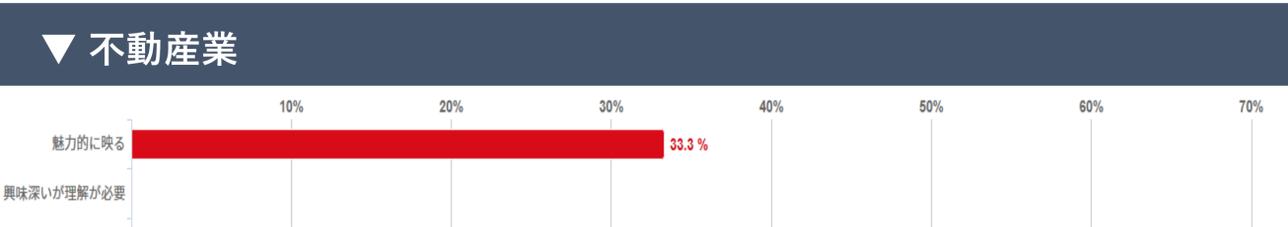
### ▼ 建設業



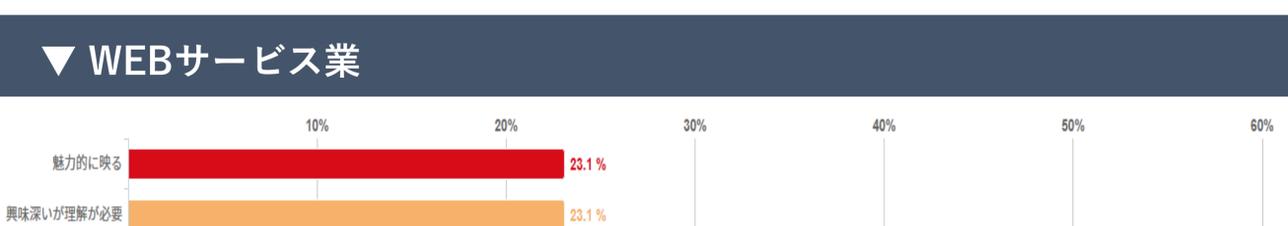
### ▼ 運送業



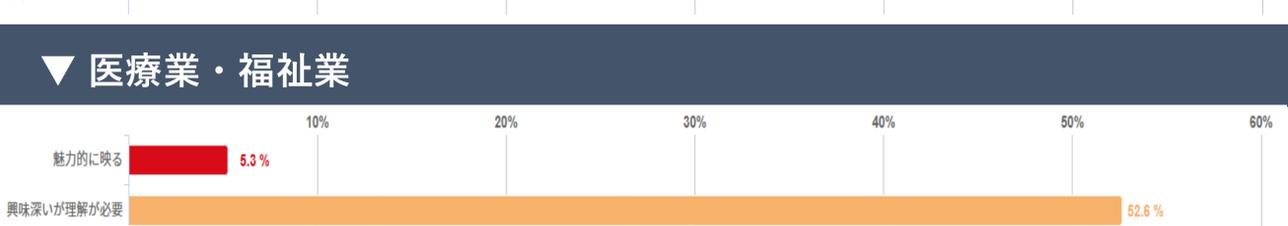
### ▼ 不動産業



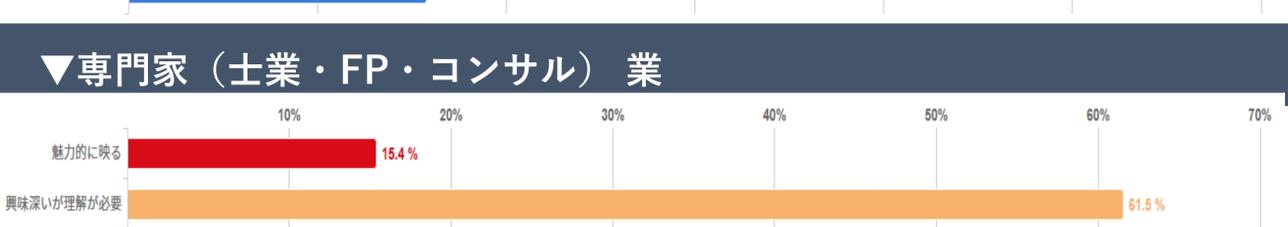
### ▼ WEBサービス業



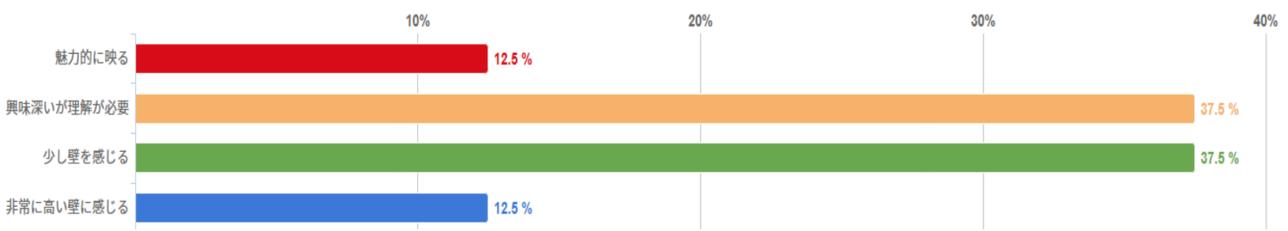
### ▼ 医療業・福祉業



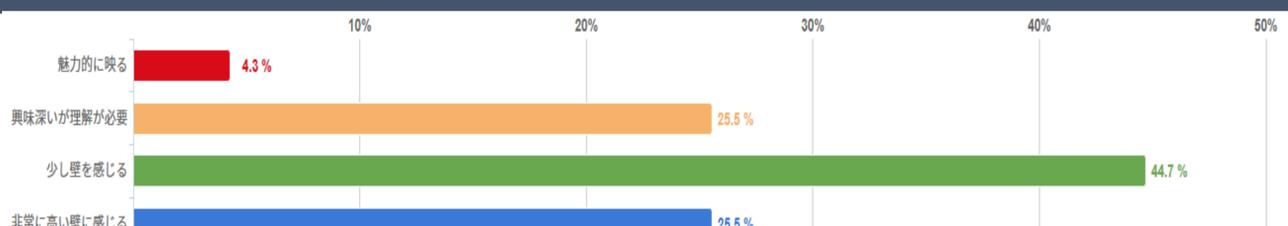
### ▼ 専門家（士業・FP・コンサル）業



### ▼ 個人投資家



## ▼ その他



# ユニークな風習

— 他業界と比べて、自分の業界の慣習や風習がユニークだと思う点を教えてください。

## ▼ 美容業

- 自由度が高いところ。比較的会社人になると縛られるところがあるが自由がある
- 練習の時間を多く取る
- まだまだサービス残業などはゆるいと思う
- 一定の技術のやり方や教え方順番がある程度の流れだが、新しいやり方や年数をかけない方法がいい
- 基本給は低いが歩合の給料が高いため労働しがいがある。その反面有給休暇を取ると給料がさがる
- 髪色などがほぼ自由なため、休日出かけると美容師だとバレやすい。コンテストや講習会が沢山ある
- 技術職になるため、時間外や休みに練習をしたり、人のサービスを受けに行く
- いい意味では柔軟性があるのだが、悪い意味では複雑かつ不明瞭
- 伝承者制度がまだしっかり残っているところでお店やお客さんを譲ってもらえるところ
- サービス業務で店舗内で異業種を組み込んだ運営をしている
- 集まりがあると、オーナー同士が握手をしたりする
- 繁忙期などで忙しくて昼ご飯が抜きになっても別に平気な人が多い
- 上下関係は多少あるとは思いますが、割とフレンドリーな感じにはなっている
- 値段の設定がかなりバラバラになっている。価格の自由がある
- サービスでドリンクを出したり子供には飴をあげたりとコストがかかるサービスが多い
- 職人気質の部分があるので師弟、上下関係にこだわりのある人が多い
- お金が発生しないことでもみんながやっているのでそれが普通になっている
- 先輩が仕事後に残って一緒にレッスンの指導をする
- 夜間トレーニングが当たり前で技術向上のために営業時間外も技術練習する
- お客さんとの会話をスタイリストとアシスタントと交えて出来る
- 昼休みがある時とない時がある。専門を出てからさらにお店の試験がある
- 服装や髪型、髪色などが自由で、個性的であればあるほど良しとした見方をされる
- 夜遅くまで仕事して、そこから練習して帰る、帰りが遅い職業
- スタイルやカットに、オリジナルの名前をつけてアピールする
- 自身の成長のためにどれだけ時間を使うことが出来るかで未来が変わる
- 美容師だとやはり師になるため、教えたりするので派生などがでてる
- モチベーションが高いスタッフは長い時間練習したり、休みの日も講習に行くなど、勉強熱心な人も多い
- シャンプーが終わった時にみんなでお疲れさまでした！と大声でいう
- 技術を競う大会やパーティー、他店舗とのコミュニケーションの場がある
- しいて言えば、師弟関係の所

## ▼ 飲食業

- 料理の盛り付けや器の選び方に細やかなこだわりがあり、季節や行事に応じて変化させること
- 数字が確立していれば、決まった型は気にしないで良い
- 顧客との距離感は他業界に比べて多く、その場で満足かどうか結果が分かりやすい
- リピーターのお客様を大事にする所

## ▼ 小売業

- 学歴不問な業界のため、横柄な対応や一般では常識はずれなところがまかり通り良くないと感じる
- EC販売業界はあまり習慣や風習がないこと自体がユニークだと思う
- 全体的に見ると日本の通販サイトでは売り手が有利である側面がある。しかし、海外の通販サイトでは買い手が有利である
- 紙ベースの連絡や無駄な会議はユニークというか非効率
- 仕入れや取引に海外業者と直接交渉し、新規開拓していく点
- 本部が推奨するやり方で基本的に行うが、店舗ごとで行うやり方を本部に提案して、それを全国に広めることもある
- 元々の商品の価格が安く設定されていたため、お客様の商品価格に対する先入観がある

## ▼ 建設業

- 毎月22日はスワンデー(2が白鳥に似てる)といって構内で禁煙を促される
- 毎朝、全員が集まって朝礼を行い、ラジオ体操をする。安全目標やその日の作業内容を確認する時間がある
- なにもない状態から仕上がっていく現場を見えるのが素晴らしいと思う
- 人によっては簡単な作業でも、違う人がやれば時間がかかったりする
- いまだにこの【元請けが偉い】という様な風習があり、下請けだからと常に見下した態度で話をしてくることがある
- 間違いがあっても先輩たちの指示は絶対的なところがある
- 高齢の職人がまだまだ現役のため、役立つスキルを手取り足取り教えてくれる
- 対象が高額のため、融資を利用して購入する方が多く、決済の場が多額の立会いの下に行われる
- 年齢層が高い事があり職人気質の人が多いため、若手が仕事を覚えるのが大変
- 前業者の仕事の遅延により後工程の業者の蹴寄せが来るが、金銭的な補填が少ない
- 建築業は昭和な発想が他の業種に比べて多いと思う
- 休憩時間がやたら長いため、嫌がる人もいるが、いいこと
- 10年くらいやって初めて1人前くらいに扱われるが、それまでは長い下積み期間がある
- 水周り系の業務メインのため、仕事が減りにくい業界だとは感じる
- そこまで他の業界とは差は無いと思っているが、作業に取り掛かる前のミーティングは長い
- 個人事業主を専業にして縛るのは建設業界特有だと思う、仕事を選べないので社員と変わらない
- 建設現場作業員のため、とくに定時など時間にとられない
- 人間関係の作り方だと思う。朝の待機時間など喫煙所などで知らない人から話しかけられ、そこから現場内で仲良くなり、仕事の幅が増えていくところ
- 今の時代はどのビジネスもSNS等のインターネットを活用した集客が多くなってきたが、顧客ターゲット層が高齢であるために、敢えて折込みチラシ中心の集客をしているところ
- 休憩がやたらと多い。年功序列な業界のため、上の人がタバコを吸いたくなれば、全員で休憩に行くため、無駄な時間が多い
- 仕事の単価は下がるが、キックバックは建設業界では多くみられる
- 現場付近で広報のアナウンス（猛暑となっております、外での運動は避けて下さい）がある。しかし39度でも働かなくてならない
- 親方が言う事は絶対みたいな習慣はあるように感じる
- やり遂げた時は、ものすごく達成感があると思うし、またやりたいと思う

代替わりと言うよりかを利用した精度で新規の人を入れないように

## ▼ 運送業

- ドライバーなのに運転以外の付帯作業が多く、案件によっては配送では無く搬入要員に使われる
- 運送業界では、ドライバーが「会社の顔」として大切にされることが多く、特に顧客との接点が多い場合、ドライバーの服装や言葉遣い、車内の清潔さまで細かく管理されることがある
- 通常商品を買うときは色々吟味して買う方が多いのに、タクシーに乗るときは車こそ選ぶことはあっても一度乗ってしまえば途中で嫌なことがあっても降りるお客様が少ない
- デジタル化があまり進んでなく、メールやSNSなどを活用した取り組みが行われていない
- 大手の運送会社には若い人間がある程度はいると思うが、中小運送会社の場合社員の平均年齢が高く、今の時世でいうアナログがまかり通ってしまう
- その日により配送量が違うが、少ない日には一番早くて13時頃に業務が終了したりと定時時間より早めに終了する時がある
- 全てマニュアルにしか動けない企業体質のため、分かりやすく自己研鑽しない人にはよい
- 荷物を届ける事が仕事なので、届けてしまえばあとは自由時間なところ
- 他業界に比べて特別な知識はいらず、体力勝負なところ
- 決まった休憩時間等が存在しないため、早く配達を終わらせて自由な時間に充てる方が多い。スーパー銭湯に行く。観光する等
- 仮眠室や休憩所が充実しているため、休憩時間に仮眠をしている人が多い
- いまだに昭和感丸出しでやっていることがユニークに感じる
- 面接は、無地なものであれば、基本自由かもしれない。逆にスーツだと目立つかもしれない
- 時間指定があればその時間まで待機しなければ配達することができない
- 地理が頭に入ってくる。そこは魅力的だと思う。ただし、覚えるまでが大変
- 自由な環境で自分から仕事を取りに行けばそれなりに稼ぐ事ができる、ただし上限は景気により左右される

## ▼ 不動産業

- 上下の関係も横のつながりも仲良く、助けあっている。上が面倒みるシステムができています
- 手数料に消費税がつくこと、お客様にいらっしやいませと言っていること

## ▼ WEBサービス業

- 大体のミーティングをオンラインで済ませる傾向にあるため、対面が好きな人に好まれない
- アナログとデジタルが融合している部分があるが、最終的にはアナログ重視な点
- IT業界はITと言いつつ、実態は人材を商品として利益を出す。人材を横から横に流していくことで利益をあげていくため、設備などの経費はかからず、またそれは、ITの知識を必要としない行為のため、誰でも行うことができる
- 数時間程度であれば時間調整がしやすい業界ではある。ただし、契約先に全て左右される
- 対面重視で個人事業主を客先常駐させ、業務管理するところが法的にグレーであること
- 新しいツールなどを利用する機会が多い
- 古き良き…のようなものがなく、どんどん新しい流れを取り入れていくのが特徴的
- 他の業界に比べて効率化を進めやすい環境であり、リモートワークでも問題ないこと
- 資格や技術ごとに大まかな性格などが分類しやすく、資格ごとのプライドや見栄などがあるところ
- 例えば、インターネットや検索エンジンはまだ日の目を見て30年ほど。SNSは20年ほどと歴史は短い。仮想通貨（ブロックチェーン）、AI、VR、自動運転など新しい技術がどんどん出てきているが、エンジニアはそれらの新しいものに関わらないと生きていけない世界。昨日の常識が今日は通用しないかもしれない世界のため、昨日の慣習や風習も今日は通用しないかも、とワクワクしながら（怯えながら？）キャッチアップが大変なところがユニークに感じる
- 性についてオープンになって良く、実際に自由な人も多い。個人でも活動出来るようになった
- ハードを扱う業界は、丁稚奉公の雰囲気が残っている印象がある
- IT業界としては、新しいことを率先して取り入れていると思われ、あまり昔からの風習のようなものは感じられない
- いかにも他人のコンテンツを盗用しない範囲でオリジナリティ風に振る舞うこと。自身で最初から最後までコンテンツを考え、独自に作っている人は稀
- IT業界では、働く場所や時間に柔軟性を持たせる文化が非常に浸透している
- 業務が完全在宅で完結していること。チャットやボイスチャットで社内MTGができるため、オンラインで完結している
- IT業界では、障害発生時の「ポストモーテム文化」が独特。失敗を責めず、原因を分析し改善に活かす風習が強い
- 皆、既存の記事を参考にして書いているため、どの会社も誰であっても似たようなレイアウトになる

## ▼ 医療業・福祉業

- 医療行為のため、ユニークな事はないが、一般職種なら即、断られるクレーマー等も応召の義務で対応しなければならない
- スポット的な働き方が非常に多い。最短時間30分～数時間単位まで様々
- 全ての業務を紙媒体で行う必要があるため、仕事での確認事項などにすごく時間がかかる
- 全然凄くないのに自分自身でブランディングをして「すごい先生」になり講習などする
- 治療院や整骨院、病院でも、治療なのに治して来なくなると、人数を増やして営業しろと言われて、最初の志しを持った思いを砕かれる
- 歯科技工士は「精密な職人技」が求められる一方で、近年はCAD/CAMや3Dプリンターなどのデジタル技術を取り入れる必要もあり、この「伝統と最新技術の融合」は、他業界の工業製品やアートに似ているが、患者の口腔内という非常に個別性の高い領域に特化している点がユニーク
- 絶対がないのが、接待。ある種、整体に来てもらった時が接待になるのだと思う
- 一部の院では、従業員を未だに弟子のような扱いをしているところがあり、働く環境が悪い
- 特に営業活動をしなくても、医療機関と近いだけである程度の顧客は確保できる
- 常に勉強、研鑽が必要であること。やった分だけ進歩成長できること
- カルテなどパソコンで一括管理出来れば楽になるとは思いつつも、他業種との連携で相手側がまだ紙での対応の事業所も多いため、なかなか進まない、進めない
- 公定価格が決められている点。9割は自治体が売上報酬を補償する
- 自分で独立開院した場合、誰にも意見されることなく、自分の思う通りに仕事することができるという事がユニークな風習になるのかもしれない

## ▼ 専門家(士業・FP・コンサルなど)

- 全てにおいて契約者の意向が尊重され、署名ベースで進んでいくので契約の齟齬が生まれにくい
- エクセル至上主義。ソフトウェア全般にマイクロソフト中心に利用する傾向が非常に強い。例えば、プレゼンテーションなどを考えれば、パワーポイントよりCanvaなどの方がよいのに、ほとんど使わない。グラフもエクセルばかりで、マクロから脱却できていない
- 業種及び業態を広く活用するための経験値が必要であり、よく言えばプロフェッショナル要素が必要
- 顧客との距離感が難しい。近すぎることは禁じられるが、離れすぎると仕事にならない。バランス感覚が求められる
- いまたに、手書きの書類が多く、内面的なところや、閉鎖的なところ
- 出勤義務は週に一回。コンプラ研修は月に一回。資料やパンフレットには会社のスタンプを必ず押印すること
- フルリモートワークのため、全てチャットツールや業務アプリケーションで管理されている
- カジュアルな服装。スーツを強要する企業はほとんどなく、多くはビジネスカジュアルを推奨
- 若い業界なこともあるが、土木業の風習が根強い。文字数制限が多すぎる
- お客様からのお金を一切頂かずにお力になれるため、デメリットがほぼない
- 他業界と比べて自分の業界の慣習や風習がユニークだと思う点は、「誰が」やるかで結果が大きく変わるところ

## ▼ 個人投資家

- ビットコインの創始者サトシ・ナカモトの正体は不明で、そのビットコインには1BTC=1000万円以上もの価格がつけられている
- 暗号資産の値動きが激しいこと。ユーモアのあるミームコインが出てきたり、それに投資して運よく資産を大幅に増やしたりする投資家がいること
- 同業同士がお互いの知識などを教えあい、ライバルとならない環境
- 暗号資産はインターネットにより生まれた技術であるため、他の業界よりIT、SNSにより近く深い関わりがある。また、BTCの半減期など深い歴史はないがある程度のアノマリーがユニークではある

## ▼ その他

- **アスリート**
  - ・今はあまり無くなったが、いつ何時でも先輩の言うことは絶対の組織であった
- **情報通信業**
  - ・高スキル人材の不足によりフリーランスの参入障壁が低く、近年は会社員からフリーランスに移行する人も多い
  - ・リモートワークが標準化されており、場所や時間に縛られず働ける環境が一般的。技術自体が成果物であり、正確性や効率を重視する文化が根付いている。上下関係も比較的薄く、役職に関係なく意見を言いやすい文化もユニークなところと思う。また、ハッカソンや技術勉強会が頻繁に開催される。技術的な試行錯誤が必要な場面が多いため、他業界では失敗を隠そうとする傾向が強いのにに対してIT業界では「早く失敗して早く改善する」という失敗の許容と早いサイクルであるアジャイル思考が一般的であり、他業種との違いだと思う。
  - ・年功序列はあまりないように感じる。スキルの高い人がまとめ役をするケースが多い
- **翻訳**
  - ・新規顧客の獲得が難しい。知り合いからの紹介が意外と多いケースがある
- **保険業**
  - ・成果主義のため、どんな方法で契約を取ったとしても数値が高ければ高報酬
  - ・成績が出来たら報酬が付いてくるだけではなく、旅行などがプレゼントされること
- **パーソナルトレーナー**
  - ・疲れた時やしんどい時こそ、トレーニングをして自分の身体をつかってテンションをあげたりする事。また食事や栄養面やカロリーを気をつけていないと、自己管理もできないと思われる部分はユニークだと思う
- **便利屋**
  - ・仕事の境界はなく、自分の裁量による仕事である。多方面からの仕事の新規参入はあるも、やはり地域での密なコミュニケーションが必要である
- **サービス業**
  - ・クライアントとの長期的な信頼関係構築のため、多くの場合初めての仕事でトライアル期間を設けることが一般的
  - ・クライアントとの交渉によって決まる柔軟な報酬形態
  - ・クライアントによって多岐にわたる業務要求となるため、自分のスキルや経験を基に柔軟に対応する必要がある
  - ・メールやチャットツールを使った非対面コミュニケーションが主流
- **トラベルフィンテック**
  - ・1つの事をするのに色んなシステムとの繋ぎ込み使いこなすスキルが必要だが、日本のシステムのUI・UXの悪さはとてもユニークだと思う
- **製造業**
  - ・職人の考えとして人の育て方は一つと偏っている傾向を特に強く感じる
  - ・効率化する部分とクオリティを保つ工夫と両立しなければならない
  - ・業者間移動や取り引き先がかぶるのを異常に嫌うので仕事がやりにくい
- **ITエンジニア**
  - ・変化が速い業界のため、例えユニークな慣習が現れてもすぐに廃れる可能性がある
  - ・IT開発は基本チーム単位で動き開発を行うため、個々の成果で判断しにくい面がある。そのため、評価は定量的なものというよりは、定性的な評価で行うことが多い。この評価の影響もあり、IT開発においては、不当に買い叩かれるケースが少なく、個々の要員にスキルに合わせて給与を支給できている
- **電気保安管理**
  - ・高齢者が多いのもあるが、自分のやり方を確立している人が多いため、一人一人、作業が違うのは見えて面白い
- **システムエンジニア**
  - ・取引先に常駐することもあるため、その慣習に染まりがちなことはあると思う
- **保険募集人**
  - ・人、動物、物それぞれを対象とした保険がある、その種類の豊富さ
- **技術サービス業**
  - ・業界の中でも大きい企業ではとりあえず売り上げを上げる。でも残業はしないように。という考えが強いと思う
- **空調設備**
  - ・別会社同士でも困っている時には協力して現場を終わらせることがある
- **セラピスト**
  - ・閉鎖的なところが、ユニークというか変わっているなど思う。新規参入に厳しい
- **イベント業**
  - ・業務につくとき、黒子スタイル(全身黒の服)を義務化していること。業界というより、国民性と感じる
- **外部講師**
  - ・映像編集などの映像作成でわかりやすく短くまとめることなど
- **教育業**
  - ・ある程度外国人だという理由で普通の職場では認められないような髪色なども受け入れられること
- **音楽教室経営**
  - ・師弟関係があるところ、礼儀を特に重んじるところ。御礼の仕方、家に入る作法、言葉遣いなど
- **教育サービス業**
  - ・サービス提供者がお金を払っている大人でなくて、その子供。サービス提供する生徒だけでなく親へのケアをより意識することが大事
- **フリーランス**
  - ・技術は最先端でも、中身が中世程度の運用でしかないのが進歩していないように見える
- **代理販売業**
  - ・見た目の煌びやかな、わかりやすいお金持ちが受ける傾向にあると思う
- **ITエンジニア、コンサル**
  - ・情シスメンバー、情シス部門だけ全員派遣会社の社員で固めている
- **金融業**
  - ・顧客管理がかなり厳しく具体的な情報がたくさんあるため、管理をきちんとなしといけないこと
- **請負業**
  - ・年功序列は多少あるが、コミュニケーション能力が有り、担当営業に気に入られれば上に上がれると言った風習がある
- **外国語通訳**
  - ・未だに仕事での携帯操作する事に注意される事がある
- **不動産賃貸業**
  - ・古くからある不動産オーナーが賃貸人と、世間話しをしたりコミュニケーションを取っていること
- **電気工事業**
  - ・一色たんに電気といっても、かなり違いがあり、製造する部品により設計に関しては向き不向きがあるので仕事に偏りがでる

# 残すべき風習、やめるべき風習

ー業界全体の風習や慣習について、後世に残すべきだと思うものと、今すぐやめるべきだと思うものを教えてください。

## 美容業

### 残すべきだと思うもの

- 合同練習会など、違う他店舗との交流、実技練習
- 先輩と後輩との関係性。良い意味での師弟関係
- 何十年と変わらない続いている技術や材料など
- レッスンやコンテストなど、技術やセンスを磨けること
- ハンドでのエステ、もみほぐしは、人を癒す力があるため、残すべき
- 全体的な連携や良い意味での柔軟性やフアジーさ
- 実力主義で人気あるものはどんどん行く 美容業界には、人の姿を美しくすることに関する、あらゆる企業が集まっていること
- 最低限の技術と知識の必要な資格制度。衛生面を中心とした開業
- セミナーや社員旅行
- 一人前になるまで（人一倍稼げる）はしっかり時間を使って修行すること
- アート的な要素が少なく感じるのもっと発展しても良い
- 新人の教育を朝と営業後にやるのは、その人のためになるため、時間外労働ではあっても残すべき
- スタッフ教育、接客、技術指導などの伝承
- 先輩よりも先に仕事をするなどの体育会系なところ
- ヘアショーやコンテストは楽しいし業界の向上に繋がる
- 技術や接客の経験を具体的に伝えてマニュアルにして残す
- 個人個人のスタイルにおいて、自由度が高いこと
- 実力至上主義。サラリーマン化をしないで売上に対して収入が上がる
- 名前を呼んだり、よりパーソナルなサービスを提供
- 教えてもらう先輩方に敬意を持ち、役に立とうとする行動
- 語り継がれた伝統の技術や、新しい手法など
- 成果主義な考え方
- 工作中的ヘアスタイルやファッションは自由に自分で決められること
- 1人1人のお客様を大切に作る風習
- それなりの厳しさや常識的なマナーなどは残す
- 技術の伝承として、基本的なものは残していくべき

### 今すぐやめるべきだと思うもの

- ミーティングなどで、zoomでは無いところ
- 時代にそぐわないもの全て。その時々で変わるので具体例は上げれない
- パワハラ、モラハラなど、強要することなど
- こうしないといけないという考え方や、やり方など
- 大型店舗の会議や勉強会。労働時間外でのSNSの配信
- 長年のキャリア＝上手いという考え、長い拘束時間、一部を除いて一般的な会社員より給料が安い所
- 機械で、医療系のギリギリラインのことを、素人にやらせるべきでは無い
- 時間外で無給でもやる気あるならやろう！という雰囲気
- ある意味アシスタントで店は回っているため、スタイリスト至上主義
- 理容、美容の区別
- ミーティングや社内の講習や幹部ミーティング
- 一人前（人一倍稼げる）になった人をも縛ること
- 意味のない飲み会や懇親会に誘うこと
- 過剰な接客やサービス残業
- お昼ご飯の時間をとらずに仕事をする
- 入社歴、年齢が上というだけで偉そうにできる文化
- 有休消化やボーナスがないなど
- スタイリストとアシスタントの上下関係の厳しさ
- 居残りの勉強会や練習(強制的にお店がやらせるもの)
- プライベートな用事をアシスタントに頼むこと
- 会議などの関係ない事務所にいくこと
- 紙媒体を使つての顧客管理
- サロンの考え方を押し付けるような考え方
- 国家試験の実技を今使える物にして、試験に受かったらシャンプー、カラーはできるくらいにする
- 理美容という二つの壁
- 異様で必要以上の年功序列
- 目上の人との接し方など軽くなっていること

## 飲食業

### 残すべきだと思うもの

- 季節の食材を使った料理の提供と、その季節感を大切にする姿勢
- 常連客との繋がり、おもてなしの心、世界的にも評価が高い日本のサービス
- お客様への感謝の気持ちを忘れず、飽きさせないこと

### 今すぐやめるべきだと思うもの

- 性別による役割分担の固定観念や、古い体制を優先して効率を無視すること
- 見て盗め的な修行のやり方。わかり易い伝達方法があるのに、非効率
- 過剰な長時間労働、パワーハラスメント的な指導方法

## 小売業

### 残すべきだと思うもの

- 営業力も必要ではあるが、商品の基本的な基礎知識は熟知しておくべき
- 卸会社、自店舗、顧客の全てに利益が出るように工夫して経営すること
- システムの簡単化、誰でもすぐわかり手間がかからない。
- いままでどおり真面目にきちっと仕事をするところ
- 商談の際の定型文やかしまった言い方などは海外ではなく、要点を簡潔にまとめてやり取りがされているところ
- コミュニティ等の集まりで意見交換が活発に行われる風習
- お店でやって良いことはお店の判断で販売したりしていくスタイルは変えずにやっていきたい

### 今すぐやめるべきだと思うもの

- 横柄な対応をする人が多い業界
- 自分だけが儲ければ良いという安易な値下げ要求
- 手間がかかるシステム、外人が分かりやすい商品
- 長時間の残業
- 売ったもの勝ちな部分
- お客様は神様であるという慣習はやめて、トラブルがあった際にサイト側も双方の意見を聞いて判断するようにするべき
- 非効率な連絡手段や会議など
- 他社を蹴落としあって競争する風習。価格競争など
- お店に任せただけに「これは違う、あれは違う」などと否定して、結局は本部の思う形になっていくこと

# 建設業

## 残すべきだと思うもの

- 毎朝のラジオ体操や月一のルールに関するテスト
- 「ご安全に！」の挨拶は、安全意識を高める習慣なので、事故防止のために欠かせない
- 現場の掃除や整理整頓は作業効率的にも残すべき
- 現場で活用できる昔ならでの知識や経験
- 現場での仕事は教えても理解できない事があるので見て覚える経験すること
- 礼儀や挨拶
- 若い世代の人達は譲り合い仕事をしているイメージがあるため、それは残すべき
- 古い世代から新しい世代への技術の継承
- 近隣のあいさつ回りや周辺調査、地鎮祭等の祭事的なもの
- 手間のかかる、手作業の仕事を覚えるのが大変だけど将来は、自分の為になる
- 元請、下請けとの一体感による工事の遂行
- どの業種も義理人情など人間味のある部分
- 横のつながりを大切にすること
- いわゆる職人技。技術力、現場を全体的に見る力
- 作業員どうしの挨拶などのコミュニケーション
- 人間関係の作り方や、技術を授ける講習など
- 少子化、核家族化により、気遣い、気配り、思いやりを養う環境が少なくなっている
- 職人同士のコミュニケーション
- 義理人情みたいな昔ながらの関係が今だにあるため、そういうのは残して行くべき
- 何事も柔軟な対応や、臨機応変に適応出来るように自分の腕を磨くこと
- 人との繋がり仕事はまわってくるということ
- お年寄りを敬う気持ち、若者は楽な仕事を見つけるのが早い
- お客様が依頼したものを完璧な状態でお渡しすること、期限を守ることに厳しくいること
- 礼儀の厳しさだったり、部下を思って厳しく指導すること
- 安全第一で、仕事をやるのは今後も残すところ
- 技能の力と若い人への教育または精神教育など
- 上下関係や業者さん達との横つながりを、大切にすること
- 職人作業な部分があるためにそこは受け継ぎたい

## 今すぐやめるべきだと思うもの

- 就業中の喫煙時間の制限や喫煙場所が毎年減らされること
- 労働環境の悪化は、若手の離職や業界の人手不足を招いている
- 毎日同じ事の繰り返しの朝礼
- 下請け業者を見下す事はやめ、お互い協力すること
- 新しい技術を取り入れる事も大事なので頑固な考えはやめるべき
- 自分が1番と思ひ込み、他業種の人達に嫌われるようなこと
- いわゆる職人氣質な考え方は今のお客様へは伝わりにくいので丁寧な説明が必要
- 取引者本人で確認できる案内や、査定書等の膨大な資料の作成と提出
- 現場における、朝礼での新規参加者の挨拶、意気込み。時間の無駄。全員参加の朝礼での打合せ
- 手間のかかる手作業の仕事をなくし、誰でもできるようにしたい
- 事後発注による曖昧な契約による原価管理
- 怒鳴りつけるような上から目線での仕事
- 下請け業者への多額のキックバックの要求や仕事が終わってからの金額の値引き
- マナーやモラル
- 休憩とかの時間になるとジュースを買いに行かされたり、コマ遣いの様に扱われるところ
- 何よりもまず人件費から削っていかうという考え
- 年齢差での、少し勝手な決めつけなど
- 業界用語の伝え方(新人などに) 根性論など
- 上司や先輩達が若い人達に教えようとする習慣
- 変なところで団結して、1人の人をイジメたりする所があるため、そういうことはやめるべき
- 建築業自体は未だにパワハラ紛いのことが横行していると思うため、お山の大将的なことはやめた方がいい
- 接待、キックバック、お歳暮、年賀状など
- 真夏の猛暑の最中の仕事と雨の中屋根に登る作業
- なるべく通勤時間に削減をめざし、非効率をなくす
- 昔はこうだったと若者に言うこと
- 休憩中の打ち合わせはやめるべき
- 見て覚えろと言う考え方は今の若い子には無理だと思う

# 運送業

## 残すべきだと思うもの

- ある程度、自分で仕事を選定できるため、時間の融通がきく
- 運送業界では、顧客の満足度を最優先に考える精神が長年大切にされてきました。この「顧客第一」の精神は、今後も業界全体に引き継がれるべき
- 置き配サービスは残すべきものでルールだけはきちんと定める
- タクシーセンターなどの業界の業務の円滑を図るための機関や組織
- 規律や挨拶、上下関係は残すべき
- 利用できる人にとっては、人との繋がり。古き良き人情的な関係
- 勤怠管理、顧客管理等、事業に関する内容は全てデジタル化
- 非常時において配送を行う時に手書きなど、基本的手順の理解
- 仕事の楽しさ、仲間の大切さを残すべき
- 業界にとらわれずいいと思うことは取り入れて残すべき
- 業界全体の風習や慣習について客の立場を考えた丁寧な仕事
- 体力勝負とはいえ、時間厳守など大事なことであるため、真面目さは必須
- 自分の好きな仕事を組み合わせる事が出来る自由な働き方
- 運転している時間以外の自由さ。厳格なアルコール値チェック
- 配達事態が残っていくものなので、今まで通りだと思ふ
- 基本、この業界は、朝方出社が多く、お昼には終わってプライベートの予定がたてやすいのでこのままで良い
- 置き配や宅配ボックスの設置を増やしていく
- 回達な挨拶、顧客重視、コミュニケーション重視

## 今すぐやめるべきだと思うもの

- 集荷先での商品のピッキングや梱包、納品先の厨房に入って棚入れなどの配送以外の付帯作業
- 長時間労働が「当たり前」とされる文化が根強く残っている。ドライバーが過労で無理をして働くこと
- とがしばしばあり、その結果、事故や健康問題を引き起こすリスクが高まっている
- 紙媒体の資料配布や対面での朝礼
- 休憩時間等にやる飲み物を賭けたりする小さいギャンブル
- 事業の一部にデジタル化ではなく紙を使用した上での管理
- いまだに手書きの配送ルートを作成されること
- 先程から答えているようにコールセンターでの無理なお願い
- 派閥や、パワハラ、まともに仕事をおしえない
- まだやめるべきものも理解していない為、わからない
- ドライバーを軽視する環境
- 下請けの連鎖。3次、4次請けは当たり前にある

実運転時間のみを評価する賃金体系。拘束時間を評価すべき

- 委託は下に見られるなど上下関係と対人への対応が良くない
- 伝表やマニュアルなどは、電子化したほうがよい
- 時間指定や不在による再配達配達員の負担になるだけ
- 年数の長い同業が、幅をきかせるような環境

## 不動産業

### 残すべきだと思うもの

- 今の育成制度はこれからも残してほしい制度
- 登記は、法務局で紙でやることや、印鑑を使うこと
- 個人事業主として動いているため、目立っているものはあまり感じていない

### 今すぐやめるべきだと思うもの

- 個人で動かないと収入が入らないため、自分次第
- 司法書士にわざわざ依頼した、手数料を払う制度
- 同じく個人事業主として動いているので、目立っているものはあまり感じていません。

## WEBサービス業

### 残すべきだと思うもの

- CAD/CAMが進化しているが、アナログが全くできない人も増えており、最後はアナログで完成しなければならないため、その技術は残すべき
- どんなにデジタル化が進んでも、問題があったときはアナログベースでの確認を行うこと
- 業務・システムの自動化と、ミス等の検知を行うシステムの導入
- リモートワークなどは残すべきと思う
- プロジェクト運営の柔軟性や、クライアントとの信頼構築を重視する文化は後世に残すべき
- 滞らず、常に新しいものを取り入れていく柔軟な姿勢
- 環境や社会の変化に応じて、働き方を柔軟に変えていくこと
- 1to1のサポート対応。web主流ではあるが需要はまだある
- クラウドやグループウェアでの情報交換や情報管理
- 活動のステップアップの制度。音楽やアート、執筆など他業種への応援
- 複数人での指し確認は間違いを防ぐために必要
- フレックスタイム、ビジネスカジュアル、テレワークなどの活用
- 自分より優れたコンテンツを分析して自身のスキルに活かせること
- 残すものはなにもない。どんどん進化させるべき
- IT業界では「時間ではなく成果で評価する」という文化が根付いている。また、リモートワークやフレックスタイム制など柔軟な働き方が広く採用されている
- オンラインでの稼働ができたり、自身の予定を優先して仕事ができること
- 製品やサービスの開発において、常にユーザーのニーズを最優先に考える「ユーザー中心の思考」
- <TAB>オープンソース文化、知識や技術を共有し、業界全体を進化させる協力的な姿勢
- 記事を書く際、複数の確かなエビデンスを確認して記録しておくこと。

### 今すぐやめるべきだと思うもの

- 相手の心情を思いやらずにこちらの効率化だけで物事を進めること
- 平常時もアナログでの確認を行うことなく、デジタルを基本とすべき
- 多重請負構造。クライアントとエンジニアの間に、複数の仲介会社が入り込むことで、仲介会社の中抜きにより、エンジニアの取り分が減るだけでなく、業務にも悪影響が発生する
- 自動化した業務・システムに無駄に人手を介入させようとする
- 契約先の働き方に合わせるような働き方はフリーランスになった意味がないため、辞めたほうが良い
- 契約内容の紙保存や対面打ち合わせの重視など、効率を欠く慣習は今すぐ廃止すべき
- 手続きが多いことや長時間残業に対してはもう少し嫌悪感を持つべき
- 出る杭を打つ、チャレンジをバカにする、他者批判をする
- 過度な無料サポート。諸々経費が増えている今貰える所は貰えないと成り立たない
- 情報漏洩に厳しいのは分かるが、オンプレミスは時代錯誤の遺物
- その仕事以外してはいけないなどの、縛り制度
- 出社する必要が無いにも関わらず出社する風習
- 時間を無駄遣いするような会議など
- 特に思い当たる点はないため改善は不要な認識です。
- 他人のコンテンツの盗用、あるいは参考にしたことを隠してオリジナルであると主張すること
- 時間のかかる、会議、打ち合わせ等は 必要ない
- 納期を優先するあまり、徹夜や長時間労働が当たり前とされる風潮
- PCの監視や端末の監視、稼働の監視もやめた方が良い
- 納期が厳しく設定されることが多く、品質を犠牲にしてでも期限を守ろうとする風潮が見受けられるのでやめたほうが良い
- 「24/7常時対応」の暗黙の期待 無理な働き方を前提とする文化は、効率や人材の定着に悪影響を与える
- 終身雇用や年功序列が安全という考えは、現代の多様な働き方に合わない古い常識
- いつまでも古いレイアウトに則って記事を書くこと

## 医療業・福祉業

### 残すべきだと思うもの

- 慈愛の精神を持ち続けること
- スポット的な働き方が非常に多く働きやすい
- 医療に関する専用窓口がまだあること
- ちゃんとした知識をもった先生の講義や授業
- 本気の治療や、困った人を売上関係無く、よく診て治す努力をすること
- CAD/CAMが進化しているが、アナログが全くできない人も増えているため、最後はアナログで完成
- しなければならないため、その技術は残すべき
- すぐれた治療技術の継承
- 医師間および病院間の連携
- 手技のレベルを上げるための練習に、先輩が後輩に指導したり体を貸すこと
- 実際に現場に出る前に疑似ローテーションの練習をすること
- 抜けた乳歯を投げる風習
- あくなき向上心とそれを支える勉強会、講習会など
- 紙のカルテはやはりすぐに確認出来るため、残した方が良い
- 保険制度による報酬制度
- ある程度の仕事でのマナーやルール
- 個人開業の場合、ほとんどの場合、技術の継承が行われていないのが現状。技術を継承すること

### 今すぐやめるべきだと思うもの

- 過剰に医者を盛り立てる文化
- 無駄な書類が多く、めんどくさいこと
- 全ての業務が紙で行われることによる時間のロス
- 勝手にブランディングをした先生の講義や授業
- 治す気なく、永遠と引き延ばし引っ張る営業なのか、治療なのか分からない商法
- 夜中まで技術を取得するため長時間労働するのが当たり前とおもうこと
- 整骨院の治療の保険の不正請求

● 「今まではこうだから」という理由が理由になっていない慣習

● 学会と称した交流会は多くなくてよい。時間とお金の無駄

● 黙って待たせる為や、保険診療をする為の電療や物療

● 年配のスタッフは慣例的に予製を作らないこと

● やはりパワハラを伴う先輩後輩といった上下関係

● 一部の業態のみ、法人格の制限を撤廃すべき

● 社員旅行や無駄な会議などは減らすべき

● よく医療関係では不正請求の事件がおこる、これはやめるべき

## 専門家(士業・FP・コンサルなど)

### 残すべきだと思うもの

● 契約者保護の意向把握システムや業務記録の事柄

● 質問、問、観察といった生活者との対話から情報を収集し、インサイトを得ていくこと

● 経験値によるリスク及び成功事例イメージ活用

● 倫理観が全体的に高いように思う。これは良いこと

● やはり、リモートの時代なのですが、直接面談は、後世に残したい

● 職域訪問などする際の礼儀やマナー

● 障害年金の診断書について、受診した社会保険労務士が関与すること

● ペーパーレス化してきた契約の締結。身なりの清潔感

● フルリモートワークでの勤務できる環境

● リモートワークと柔軟な働き方。特に地方在住を許容する文化が今後は重要になると考える

● 実力主義 文字数制限が多すぎる。とくに風習には守秘義務がつきまとう

● 火災保険の使い方を伝え続けることはとてもいいことだと思います

### 今すぐやめるべきだと思うもの

● エクセル、パワーポイントに固執する必要はない。他の効率的なアプリケーションの利用を考えた方がよい

● 経験値によるリスク及び成功事例イメージ活用をデジタル化しない

● すべてリモートでの処理作業は、なかなか伝わりづらい

● 友人だからと言うだけでのお願い営業は駄目だと思う

● 障害年金の申請について、出頭申請、郵送提出に限っていること

● 業界で統一されていない出勤義務や、社内情報の管理システム方法

● 無駄な会議や非効率な会議文化。定例会議で毎日同じことを話すような会議を撤廃したい

● 文字数制限が多すぎる。とくに風習には守秘義務がつきまとう

## 個人投資家

### 残すべきだと思うもの

● 国境を超えて世界中で同じ価値として認識されるグローバルな資産

● 暗号資産の規制対応。イノベーションを阻害するほどの規制は不要だが、FTXという海外の大手取引所が破綻した時に日本の規制対応が評価されていた

● みんなで意見を言う場は残した方がいいと思う

● ネット環境により、より早く売買が出来る環境

● BTCの半減期はほぼ変えられるものでもないし、今後も定期的に発生していく。ブロックチェーンの技術はしっかりと残していくべき

● 暗号資産は送金だけでなく、物の価値保存やセキュリティなど有効な使い方がたくさんあるので、さらに改善しつつ後世に引き継いでいくべきものだと思う

### 今すぐやめるべきだと思うもの

● 日本での世界一高い税率。発展を妨げているため

● 暗号資産の税制改正への対応の遅さ。そして総合課税から分離課税に変えてほしい

● 現金集金は時代にあわないのでやめたほうがいいと思う

● 昔からのデータが使えなくなっている。これからはそういうことがなくなればいい

● 税金をたくさんとるために規制をやりすぎて、海外から遅れをとってしまうような政策

## そのほか

### 残すべきだと思うもの

● **アスリート**

・ 上下関係の厳しさは必要なため、残すべき

● **情報通信業**

・ 会社員だけでなく、フリーランスでも仕事が与えられる風潮

・ オープンソース文化、フラットな組織文化、勉強会などで業務外でも技術を学び共有する姿勢

・ 雑談によりお互いの情報を交換したりコミュニケーションの練習となる。

● **翻訳**

・ 顧客との強い繋がりが気づけることで信頼関係が強まる

● **保険業**

・ お客様との信頼関係を大切に毎年会うこと

・ 成績に応じての報酬制度、旅行の奨励策など

● **占い師**

・ 電話占いなのでチャットとかではなく電話という基本

● **パーソナルトレーナー**

・ 自分自身の身体づくりや栄養面の管理などはお客様へサービスを提供する上で納得や説得力がでるため、必要

● **便利屋**

・ 職人堅気なところ、仕事に対する姿勢は引き続きながら後世に残せたらと考える

● **サービス業**

・ リモートワークを基本とした、柔軟な働き方・クライアントとの長期的な信頼関係の構築

・ 同じ組織やサークル等に活動していた人と人との横のつながり

● **IT関係**

・ 工数の出し方がはっきりせず、浅くしすぎて、結果見積もりと結果が違ってくる

● **トラベルフィンテック**

・ ホスピタリティについては最高レベルの考え方を待つ会社もたくさんあるため、その考え方や振る舞いは残してもらいたい

● **製造業**

・ 見て覚え考えて実行はどの業界でも共通するデフォルトな成長過程だと思うため、残しても良い

・ 品質管理で完成品のチェックを必ず行うこと

・ いい意味での付き合いや助け合いは必要だとおもう

● **ITエンジニア**

・ 常に業務の効率を上げようとするマインドは、全業界を見ても高い水準のため、その姿勢は今後も残すべきものだと思う

・ ITインフラまわりの研究開発業務、サーバ、ネットワークまわり

● **電気保管理**

・ 昔からあるやり方でも、有効的な作業は残して良いと思う

● **システムエンジニア**

・ devopsと呼ばれる、システムの開発から運用までをシステムチックに行う姿勢

● **保険募集人**

・ 残すより、加えてもらいたいものとして、ニーサ活用の資産商品

● **技術サービス業**

セミナーなどで学んできたことをしっかりと他の従業員にも伝えていくこと

### ● 空調設備

- ・ 困っている時の助け合いや、仕事のやり方等の助言

### ● セラピスト

- ・ クライアントさんの事を一番に考えるところ

### ● イベント業

- ・ 自分のペースで仕事を選べるところ、勤務に関してもエントリー制なところ

### ● 外部講師

- ・ 礼儀や一般的常識を厳しく育成年代から教えていく

### ● 教育業

- ・ 英会話と英語圏のイベントを結びつけて考えること。文化や宗教などの背景が考え方や言語に影響を及ぼすことはよくあるため

### ● 翻訳、校正

- ・ 事務所に足を運ぶことなく、完全在宅で仕事が完了すること

### ● 音楽教室経営

- ・ よその家に上がる時のマナーや、言葉づかい、をきっちりする点

### ● 映像企画制作

- ・ 全ての事象について、自らが考え、知恵を絞り、自らの意思で動くことを身につけられる慣習

### ● フリーランス

- ・ 問題点を常に考えて、より良い仕組みを考える姿勢

### ● 保険代理業

- ・ 今まで、申込みの時に印鑑が必要だったが、緩和され電話のみで手続きできること

### ● 代理販売業

- ・ コミュニケーション能力や人としての在り方を伝えるセミナーが重宝される

### ● 造園

- ・ 季節に応じた剪定などの技術や慣わしは残すべき

### ● 金融業

- ・ こまめなアフターフォローや顧客情報の管理の徹底化をした方が良い

### ● 請負業

- ・ 営業職のため、言葉使いは非常に厳しいがそれも良いと感じている

### ● 外国語翻訳

- ・ 人と人の間の礼儀と相談員の理解してくれる上司達

### ● アニメーション監督

- ・ セルならではの美しい仕上がりや映像美を残してほしい

### ● 不動産賃貸業

- ・ 賃貸オーナーと賃貸人との日常的コミュニケーション

### ● 電気工事業

- ・ 安定して製造が行えるる制御に関しては、古いやり方でも残すべき

## 今すぐやめるべきだと思うもの

### ● アスリート

- ・ 先輩に気を遣って練習中や試合中の順番を譲ること

### ● 情報通信業業

- ・ 多重請負構造による中抜き。特に3次、4次など深い構造
- ・ 長時間労働の美徳化、納期厳守の過度な優先、過度なドキュメント作成は、やめるべき
- ・ 毎週10時間弱の会議がある。確認事項や話し合うことはあるため、すべて無駄ではないが、いらぬ場合も多々あると感じる

### ● 保険業

- ・ 知識がない人が営業をして、最終的に2名体制で圧力をかけること
- ・ 風習や慣習について、やるべきものはありません
- ・ 出来ない営業職員の成績折半など、コンプライアンスに反すること

### ● パーソナルトレーナー

- ・ 長い勤務時間、雑務は修行として新人がやるべきのような風潮

### ● 便利屋

- ・ 多様性に順応して、これはこうといった認識を上手く順応しながら発展できればと考えている。

### ● サービス業

- ・ ハンコ文化、パスワード付きZIPファイルの使用

### ● IT関係

- ・ 実力や環境を軽くみすぎる。工数がかかることを見誤らない

### ● トラベルフィンテック

- ・ 使用するシステムからの搾取が当たり前な所は辞めるべき

### ● 製造業

- ・ 事務作業でシステムを導入せずに無駄に時間をかけている
- ・ 付き合いやしがらみをなくしてメリットを優先する

### ● ITエンジニア

- ・ 安易にやめるべきではないとは思いますが、該当システムの知見・経験・設計書等を効率的・効果的に行う方法があるのであれば、Excel一辺倒の成果物作成は改善するべき

### ● 電気保安全管理

- ・ ただの古臭いだけの非効率な慣習は、徐々に変えていった方が良い

### ● システムエンジニア

- ・ 変化を恐れて、昔ながらの仕事のやり方に固執すること

### ● サービス業

- ・ ボランティア精神を重んじて謝金を設定しない等

### ● 保険募集人

- ・ 商談に関して、契約に至る記録を残す決まりをやめてほしい

### ● 技術サービス業

- ・ お店のリーダーが全ての中心となって店を回してしまうこと

### ● 空調設備

- ・ サービス残業だったり休みなく連続で働かせ続けること

### ● セラピスト

- ・ スクールや協会の縛り

### ● イベント業

- ・ 黒子スタイル、できれば制服を用意してほしい

### ● 外部講師

- ・ トレンドを取り入れられない指導者が権力をふるうこと

### ● 教育業

- ・ 外国人に対する差別や、固定観念

### ● 翻訳、校正

- ・ 仕事の単価、支払い時期を前もって知らされないこと

### ● 音楽教室経営

- ・ 現金を渡す時は新札にしなくてはいけない点

### ● 教育サービス業

- ・ デジタル化できるものを全て変えて人材定着や確保しやすい業界全体の雰囲気をつくる

### ● フリーランス

- ・ 過去事例で思考停止に陥る事柄

### ● 保険代理業

- ・ 今だに大量の紙を使い続けること

### ● 代理販売業

- ・ 製品を伝えるためにはグループの垣根はとっばらい協力し合う、たたえあうこと

## ITエンジニア、コンサル

- IT業界の多重下請け構造で利益をピンハネする派遣会社

## 造園

- 職人の日当は、15,000だということ

## 金融業

- 紙媒体のパンフレットの廃棄が多すぎる

## 請負業

- 業務終了後の飲み会等は今は時代が違うため辞めた方が良い

## 外国語通訳

- 上司達が自分の責任を他に回さないで解決するべき

## 不動産賃貸業

- 不動産業者が自社だけを通した顧客とのみ取引する「囲い込み」

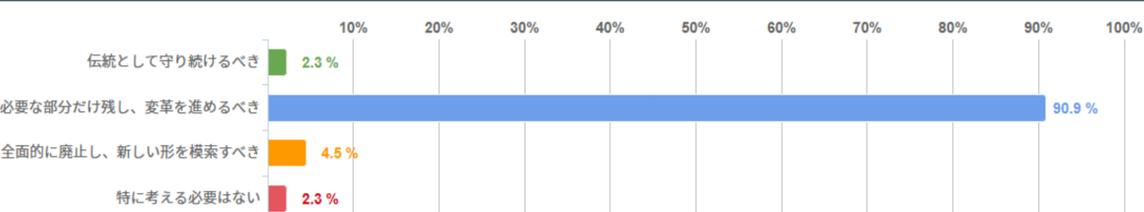
## 電気工事業

- あまり重要視されていない物に関しては、新しい物を試験的に導入すべき

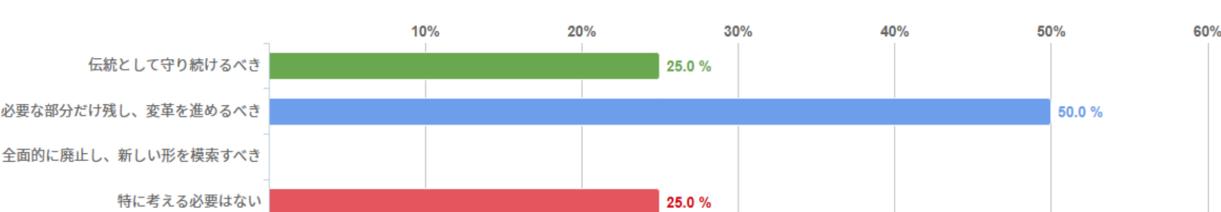
# 古い慣習はどうあるべきか

— 業界の古い常識や慣習は、これからどうあるべきだと思いますか？

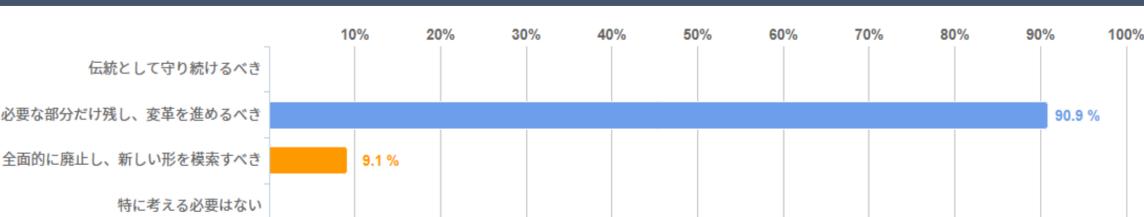
## ▼ 美容業



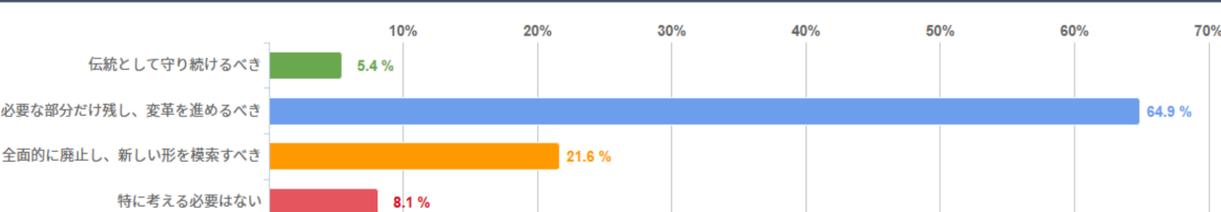
## ▼ 飲食業



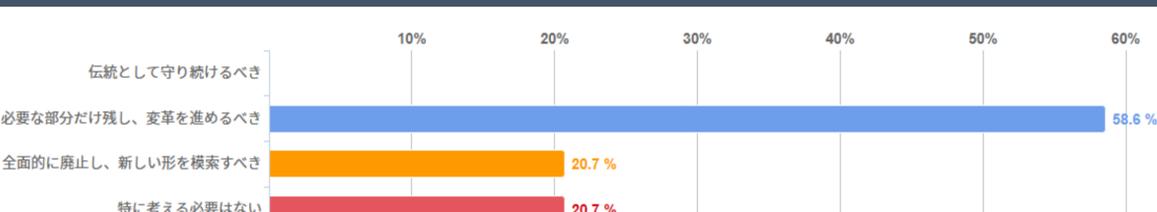
## ▼ 小売業



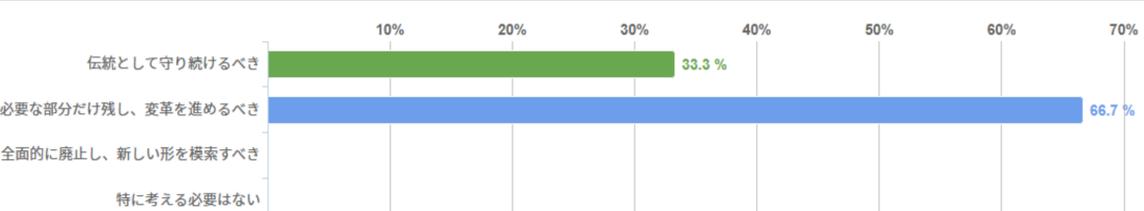
## ▼ 建設業



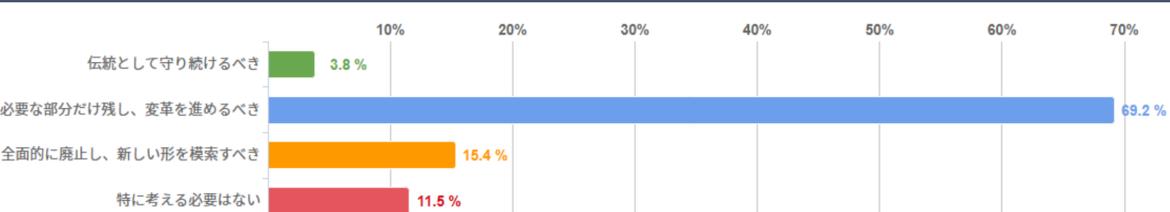
## ▼ 運送業



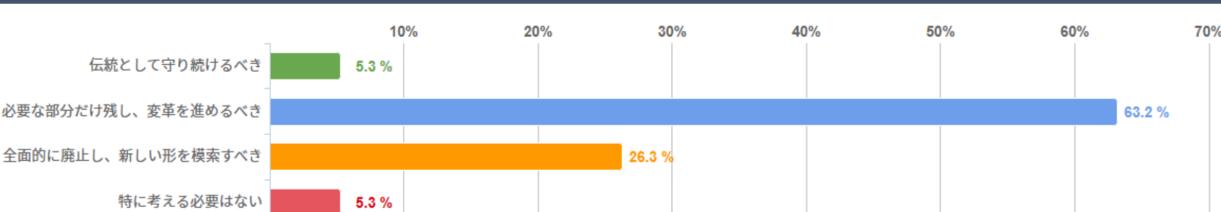
## ▼ 不動産業



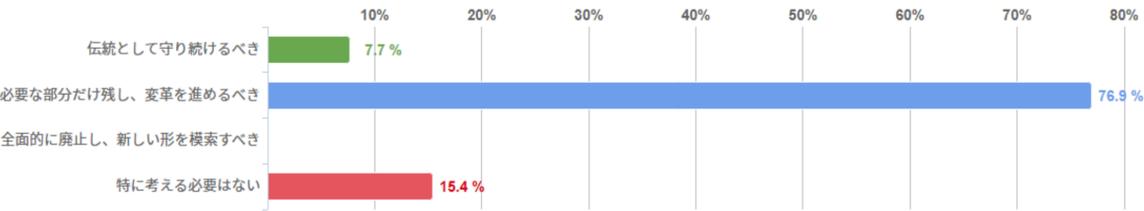
## ▼ WEBサービス業



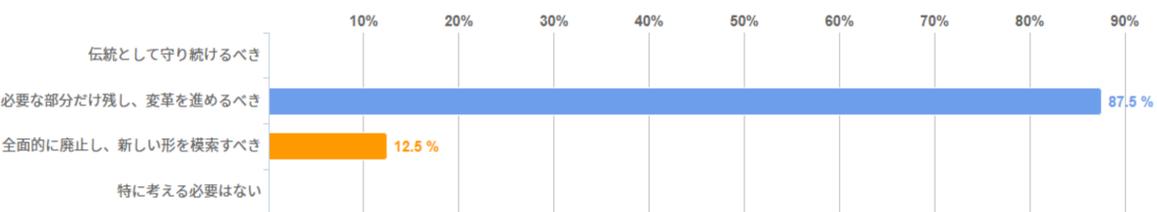
## ▼ 医療業・福祉業



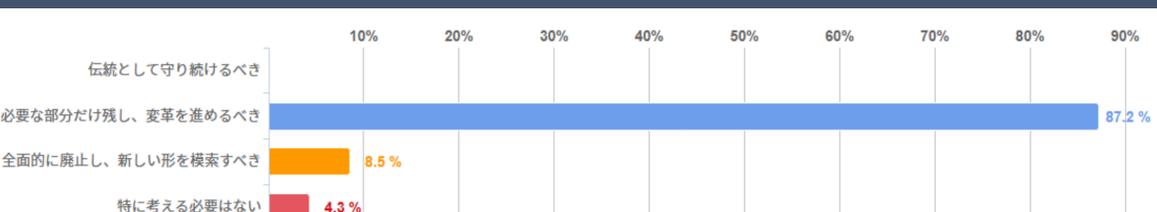
## ▼ 専門家（士業・FP・コンサル）業



## ▼ 個人投資家



## ▼ その他



# 業界の古い常識を今後どう扱うか

— 業界全体の「古い常識」や「変わらない習慣」を今後どのように扱うべきか、あなたの考えを具体的に教えてください。

## ▼ 美容業

- 個人差が生じることもあるが、皆で話しあい、目標を決めて行動する
- いらぬ習慣、いる習慣を自分で考える
- 必要であれば残すべき、そうでないならいらぬ
- 上層部が改革を意識するか、スタッフからの助言を素直に受け入れられるかどうか
- 良いものは続き、良くないものは自然となくなっていく
- 近年ではオンラインやリモートでことが済むようになってきているため、全てのものにおいて効率化を考え直していけば良い
- 必要だから長く続いている事もあるため、都度必要性や変化できるかを考える
- 古いものが全て悪いものではないため、新しい技術も受け入れながらやっていく
- 他を知らない新卒ではなく他業種からの転職者が声を上げる
- トップが変わらない限りは変わることはないとおもうため、自然淘汰されていくのを待つのと同時に若い経営者は見直しをしていく
- 一人一人が意識をすればすぐに変えられると思う
- 先人が後世に残す大切なことだと思ふため、行政や国が記述として残すべき
- 若いうちの苦勞が後の幸せにつながっていくと思ふため、何もかもを都合のいいように改善しなくても良い
- 義理人情を重んじているため、そこは一番
- 変わらない習慣や古い常識を逆手にとって、何かアプローチする
- 古くても現代に通用するものであれば大切にしていけばいい
- 自店では廃止して、オーナーや店長などトップが積極的に一年生の仕事をする
- 古い常識は大手企業を見習って変えていくしかない
- 「古い常識」や「変わらない習慣」は時代に合わせて変えていくべき
- 技術練習は仕事にはならないという悪習慣をやめ、仕事時間内でやる
- 一人一人の強みを活かせるような環境作り
- いままではこうだからという考えは一旦置いて、新しい習慣を考える
- 若い世代の考えを受け入れ、納得できるところから変えていく
- 技術力や能力があつての職業なので、それらに直結する内容は必要と思ふ
- 働き方改革などで、より効率よく働くのには経営者の改革が必要と思ふ
- 守りたいのは守って、柔軟に多様化できたら良い
- これまでの当たり前は傍に置き、話し合いで時代にあつたやり方に変えて行くべき
- 考えは人それぞれだと思ふが、お店や個人の選択で柔軟に対応出来るようになるといい
- 下がお店をあげたり戸締りしたり当たり前になっているが、新人はあまり理解がない
- それぞれの、店舗による考え方なので、疑問を持つことは改善する
- 人それぞれの考え方があるため、押し付けないようにする
- 今は変わって来ているお店が多いと思ふため、お店にあつたやり方で良い
- 美容組合の上を変えてもっと若い人がやるべき
- 現在変わってない部分はデリケートな所もあるため、慎重に判断しつつも徐々に変化していくべきだと感じる
- 業界自体古い事をしてると潰れていくので、勝手に良くなつてると思ふ
- 古い常識も変わらない習慣も凝り固まったり、偏つてなければそれでよく、大切な事は残して、後は改善する
- 多様性の時代のため、各スタッフに合わせた柔軟な対応を可能にするための環境整備
- いいところはそのまま継続していき、悪いところは改善していく
- そのお店に合っていればそのやり方でいいと思ふ

## ▼ 飲食業

- 良い部分は大切にしつつ、時代に合わない部分は改善し効率化やテクノロジー導入も積極的に検討し、現代のニーズに応える柔軟な経営が重要
- どう扱うべきかを考える前に人が育たず存続不可能になりかねないと思ふ。わかりにくい技術等は、動画等で会得すれば良いと思ふ
- その店に合つた必要な事、物の評価が必要で古いものも悪い訳ではないため、これからの必要性 現金のみをキャッシュレスに普及等は必要だと思ふ。無駄に長い営業時間は見直しが必要。仕込などで考えて行くべき
- 変わらない習慣と言へば、お節料理などありますが、少しづつお節の考え方売り方が変わつてるのが勿体無い気がする

## ▼ 小売業

- 若い人が参入して頭角を現していけば、おのずと淘汰されていくと思ふ
- 何が無駄で何が無駄ではないのかを考え直す必要がある
- 外人労働者が分かりやすい職場
- フリーのため、柔軟に何事にも対応すべき
- これからそういった部分が構築されていく業界だと思ふ。仮にできたとしても常識にとらわれない営業をしていきたい
- 古い常識で非効率的なものは無くし、古くても良い習慣や風習は残していく
- 効率化を進めつつ、信頼を重視する文化は守るべき
- 変わらない部分はお客様や従業員の立場に立つて考えた際に必要な物であれば、その習慣は必要であると思ふ。だが、現場が「これは違ふ」と判断した場合に数値やAIでは、得られない「体感」での判断をしっかり頼ることも大切だと思ふ
- 働き方が変わつてくる中、習慣は変えていかないと若手が継続して働けない

## ▼ 建設業

- 古い考えの幹部達が引退しないとどうにもならない
- 若い人たちや新しく入つた人が、自分の意見やアイデアを気軽に伝えられるような場所を作ること
- 若い世代で少しずつ変えながら良いところは残しながらやりやすいやり方に変えていくべきだと思ふ
- 古い常識と新しいこと常識をあわせて時代の変化とともに臨機応変に使う
- 良い風習は残し、時代と共に仕事のやり方もかえながら柔軟性をもっていく
- 工程を守り自分達がやりやすい様に仕事をしていくべきだと思ふ
- 頭から否定をするのではなく、対話によって余計な部分は変えていく努力が必要と感じる
- 「古い常識」や「変わらない習慣」は、法的なもの、倫理的なもの、文化祭事的なもの以外は変革を進めるべきだと思ふ
- 無駄なことが多いので、一から改善した方がいい
- 古い習慣が駄目なわけではないけれど、新しい技術力に挑戦するのも仕事のうちだと思ふ
- 賃金アップによるゆとりのある工程による工事遂行
- 自分の業界では何もないが、宮大工はあると思ふ
- 外国人研修生も増えてきている時代、見て覚える的なことはやめるべき
- 人生は主観のため、その人達が決めれば良いと思ふが、古い常識が通用しない若い人たちも多いため古い常識を持つて人は頭を柔らかくした方がいいと思ふ。時代に取り残されているカッコ悪い大人が多いと思ふ
- 自分が嫌だつた事は次の世代に引き継がない様にしている
- 扱うも何も必要なことだけを取捨選択していくことはどの業界にも必要と考えている
- 古いと感じるものは人によって感じ方が違ふため、難しい
- 今までの習慣など大切なのは理解しているが、新しい時代になつてるため、理不尽なところなどは改革が大事だと思ふ
- 全ては時代の変化に合っているのか、これからの時代を担う若い世代の意識に合っているのかを考えて変化し続けられる柔軟性が必要と思ふ
- 世代交代していけば自然となくなっていくと思ふ

- 建設業のイメージである「きつい」「汚い」「危険」と言う3Kを「給料が良い」「休暇が取れる」「希望が持てる」の「新3K」に提唱されるようになったため、その実現に向けて、給料水準の引き上げや労働時間の短縮化などを業界全体で打ち出して行くべきだと思う
- 仕事は信頼関係でやっていくもの。その他はいらぬ
- もしそれが仕事に大きくダメージをくらののなら辞めていくべきだと思う
- 古い常識とか変わらない習慣とか言ってる事自体がくだらないため、今生きてる人間が一人一人臨機応変に自分を持って生きれば良いと思う
- 古い習慣だろうが自分が満足すれば良いだけで、他人に押し付けなければいい
- 都度、効率や無駄と感ずるところは細かく省いていく

## ▼ 運送業

- 運転以外の付帯作業は積み込み積み下ろしのみで、それ以外は別料金をもらうべき。払いたくなければ倉庫や店舗の人間がやるべき
- 運送業界には、長時間労働や無理な納期管理、手作業での荷物の積み降ろしなど、効率が悪いにもかかわらず長年続いている習慣が多くある。これらの習慣は、まず「効率化」と「安全性」を最優先に見直すべき
- 古い常識や変わらない習慣に関しては時の流れの中でも残した方がいいものそうでないものの選別が必要だと考える
- 変わらないことの良さもまたあるため、少しづつ時代にあわせて形を変えていくのが一番無難
- 良い習慣は残したほうが良いと思うが、若い世代からの意見や要望も聞き入れて、改善できることは、早急にすすめるべきだと思う
- 全ての「古い常識」や「変わらない習慣」が時代遅れで不要とは限らないはず。残すべき理由があるのか考え、その常識や習慣が安全性や職場の絆を深めて役割をもっている場合、継続的な価値がある可能性があると考え扱っていく思う
- 個人でそれぞれ古い慣習や風習だと感ずた時には検討の上で改革をした方がいいと思う
- 配送に関しては、ゆうパックは、やめるべきで単価に見合っていない
- 古い常識は無くして欲しいとは思いますが、大元の企業が変わらぬと、どうしようもない
- サービス残業を無くして配送の時間指定もなくし置き配のみの配送にする
- ドライバーは必要な職種です、送料を上げて運賃を上げることが必要
- 客が一番偉いという古臭い考え、あくまで対等
- 深く根づいてしまった習慣や常識は、なかなか変わらないため、自分だけ古い変わらない常識や習慣にとらわれない仕事をする
- 経験則で合理的と考えられているものについては、その根拠を明確にし、残していくべき
- 時代に沿った考え方で常識や慣習も効率的にかつ、これから業界に入って来る人達に抵抗や圧力が掛からないよう改善して欲しい
- 会社を一新して新しい上層部への変更が必要
- 委託会社と荷主間でしっかり協議することが大切だと思う
- どんどんなくして行って、無駄を省いていきたい
- 古い風習を効率の良い方に改善していくべき
- 時代の変化に応じて新しい環境に柔軟に対応していくべき
- 全てを効率重視にする事は決して良いとは思わぬが、コスパ的には検討の余地がある

## ▼ 不動産業

- 後世に残しておかなければならない普遍的なものは共有する
- 変わらない事も大切だと思うのままでいいはず
- どこの分野でも変わり続ける事柄、変えてはいけぬ本質があると思う

## ▼ WEBサービス業

- 今の時代なのでコストを少なくすることはできるだけ進めたい
- 年齢層が高いため、急激な変化は対応が難しいと思うため、徐々に変革を進めるべき
- 商流の深い案件を禁止して、浅い商流や直請けの案件のみにすべき
- 技術は進歩し、昔と比べてできることが多くなつたため、どんどん自動化などを行っていくべき
- 労働力の切り売りの仕事となると、雇用形態に関わらずみんな同じように扱われる可能性が高いため
- もう少し役割をハッキリとさせられると良い
- 業界全体の「古い常識」や「変わらない習慣」は、効率や競争力を低下させる場合には積極的に見直すべきである。ただし、信頼構築や価値観を共有する上で有益な要素は現代のツールに適応させ、形を変えてでも継承すべき
- 古いか新しいかというよりも常に効率のいい方法を模索していくべき
- それを受け入れる、受け入れぬは個人に任せていいと思う
- 柔軟に変化させるべきであり、根拠のない風習は無くして問題ない
- 変化できない人は変化できないので、ついて来ぬ人は淘汰されて然るべき
- サポート対応はある程度は維持するべき。ただ、ユーザーのリテラシーもあげる方策を取らぬとい
- けぬ
- 無理に保守的になることはないと思う。常識や習慣は生き物なので自然に変わるもの。残さなくてはいいない常識や習慣なら、みんなが自然に守っていくはずだと思う
- 今まで事務所に所属したら、仕事を事務所以外ではしていいなどの縛りがあつたが、業務委託など本人が活動しやすいやり方を選べた方がいい
- 業界特有のノウハウは残し、時代に合わせて改善すべき
- 効率化を考えるべき。例えば会議を例にあげると、わざわざ会議でやる必要のないことは、メールやチャットなどで周知するなど
- より良い方法を模索して、新しい方法を考えるべき
- 伝統的に残すべきものもあると思うが、業務に支障があるものはやめる・見直すべき、事なかれ主義でそのまま継続しているものがほとんど
- 参考にしたのであれば参考元をしっかり記載し、業界全体で送客しあえる関係性を築いたら良いと思う
- 古い常識や習慣の有用性を現状で評価し、実際にどのような効果や弊害をもたらしているかをデータに基づいて分析する
- 「古い常識」や「変わらない習慣」はおそらく大きな変化は起きぬと思うため、そつとしておいた方がいい
- 良い習慣はアップデートして残す、古い良習慣を新技術で進化させ効率化  
時代遅れの習慣は廃止する、無駄な手作業や硬直した開発法を排除する  
新しい価値観と調和させる 柔軟な働き方を導入し生産性を向上させる  
習慣の意義を定期的に見直す。業務の価値基準を定期的に更新し最適化する
- 終身雇用や年功序列が安全という考えは、現代の多様な働き方に合わぬ古い常識
- その時々業界でうまくやれている人たちが、習慣を残す方が有益なのかどうか判断するのが良い

## ▼ 医療業・福祉業

- いいところはピックアップして残していけばいいと思う
- 中々難しいが改善しないと、どんどんジリ貧に成って収入が落ちていく
- 電子認証など効率化すべきことは統べてやるべき
- 変わらない部分は訴えかけるだけ時間の無駄のため、他の業務の効率化を優先させる
- 良き技術や治療は残して、保険で食べて行けるからと、治さず引っ張る営業活動は無くす
- 「古い常識」や「変わらない習慣」は、業界の成長を妨げる一方、失われるべきでない価値も含んでいる。それらを単に否定するのではなく、どの部分を残し、どの部分を変えるべきかを見極めた上で、テクノロジーや標準化を活用して持続可能な業界へと進化させるべき
- 業界全体の「古い常識」や「変わらない習慣」は自分でやれば関係ない
- 古くなつても残っている理由があるはず。その部分を理解すべき
- まず、無駄な研究会はやめるべき。Web会議で十分だと考える
- 効果のない電療や物療をすぐさま中止すべき。不正に請求している保険請求も即日中止するべき

- 若いスタッフが積極的に研修会に参加して発言をしていく
- 抜けた乳歯を取っておきたい方は取っておけば良い
- 見直すべきだと思う。異業種と思われ、競合であるとの意識もなかった他業種からの業界参入などによって、その業界の常識はいとも簡単に壊される時代。そんなカオスが起ころうの中でこれまでの常識や習慣については現在置かれている立ち場等も吟味して、しっかりと見直すべきだと思う
- 良い習慣は残し、常に最新の知識をSNSなどで仕入れていかないといけない
- 利用者さん情報として、何枚も同じ物をコピーする事に少し無駄を感じるので、パソコンで情報を見たい人が見たい時にすぐ見れたら良いと思う
- 介護保険に依存しすぎること、収益源に限られる、収益の変動リスクが高く介護報酬の改定による経営の影響を受けやすい為、介護保険サービスと保険外サービスの混合など柔軟な提供を認める為に制度改正など必要
- 良いものは古くても新しくても残して欲しいが、時代錯誤のものはやめてほしい

## ▼ 専門家(士業・FP・コンサルなど)

- そもそもペーパーレスのため、極力ネット利用しどんどん古い常識を潰していくべき。そうでないと革新は生まれにくい
- 古い常識は、いずれ非常識になり、その時まで固執していた会社は生き残れないのではないかと。若い世代はついていけずに離職も増えてしまう。常に先を見据えて行動していたところが、生き残っていく
- 何事も変えるべきは変え、残すべきは残す柔軟性
- 年賀状とか、お歳暮、お中元とゆくゆくはやめるべきだと思う
- 今すぐは不可能であろうが、健康保険がマイナンバーカードに100%紐付けされた場合、初診日の証明が不要になるのではないかと
- 常識や風習については保険業法の元従事しなくとも、個人的な思想より守らなければならない普通のことであり
- 古い常識や変わらない習慣によるデメリットは変えるべき
- 大企業が積極的に「古い常識」や「変わらない習慣」の変革をすべきと思う。中小企業やベンチャーで変革するときの一助になる

## ▼ 個人投資家

- 仮想通貨の発展のため日本の世界一高い税率を変えるべき
- 海外から評価されている規制対応の良さは残していけば良い。だが、イノベーションを阻害するほどの規制は不要
- たとえばぎゅっちょ、かたわなど差別用語。自分の世代は差別用語と感ずることなく使って受け入れていた
- 法的にガラリと変えるしか方法が無いと思う
- 変えられる部分はより良くなるのであれば変えていくが業界としての軸になるものは残していくべきだと思う。
- 暗号資産の新しい技術を伸ばす方向で規制を作り変えるべき
- 残すものと残さないものを今後もう少し考えるべきだと思う

## ▼ その他

- アスリート**
  - ・変わらないものにフォーカスするほど無駄なことはないため、それ以外にフォーカスすることが大事
- 情報通信業**
  - ・人手不足が深刻となっているため、若い世代で優秀な人材を取り入れるためにも、良い環境へ改革が必要
  - ・「古い常識」は検証し、有効な部分を残すのが良いと思う。業界全体では既に古い常識はアップデートされ他の業界に比べて変化のスピードは速い方だが、大企業や行政関係にはまだまだ古い常識は残っているところもある
  - ・システムやAIで代用できるものはどんどん代用を検討していくべき
- 翻訳**
  - ・顧客との関係性を強めるために定期的に顔を合わせることは大事だが、少しずつ今の水準に合わせてたり、変えたりする必要がある
- 保険業**
  - ・古い慣習は新しい価値観に合わないのでアップデートしていくべき
  - ・古い常識や変わらない習慣はそのままでもいいと思う
  - ・会社の古いやり方が全て悪いとは思わないが、新しいやり方は会社を守るための制度になっていることが多いと思う
- パーソナルトレーナー**
  - ・古い常識などは、精神的に鍛えられる部分もあるため全面否定しないが、それで疲れてしまってお客様へのサービスやクオリティが落ちてしまうのであれば改革するべきだと思う
- 便利屋**
  - ・若い世代の方達の多様な意見を聞きながら、良いところをより良く発展させていけるように意見交換の場を作っていきたい
- サービス業**
  - ・「古い常識」や「変わらない習慣」の中でも、必要な部分もある。技術の進歩や世の中の変化に応じて、その都度、必要なものは残し、より便利になるものや不要なものは見直し、変革を進めることを諦めない
  - ・良いものは伸ばしていくべきであるが、悪いものは積極的に改善していくべき
- IT関係**
  - ・AIを活用してみれば。なかなか自分では気づけないこともうまくこなしてくれ、良いのでははないかと思う
- トラベルフィンテック**
  - ・変わらない物は習慣と言うよりも事業の構造上の問題な気がする。大きな企業はそこを打破すべく動き出しているため、それが中小規模の企業にも波及する未来が来て欲しい
- 製造業**
  - ・人の伸ばし方に対して追求し、言語化が難しい職人仕事を言語化する
  - ・必要な部分だけ残して不要な部分は変えていく勇気を持たないと衰退していく
  - ・いい意味での付き合いや助け合いはしてしがらみなどはなくすなどはなくす
- IT**
  - ・必要があればそのうち変わっていく。変えたいと思うものは理解を深める
- ITエンジニア**
  - ・必要があってその慣習が残ってる、と捉えればいいかと思う
  - ・合理的に考えて、古い常識や変わらない習慣であっても、合理性があれば残すべきであり、合理的なものでないなら、変えていくべきなのかは検証するべきであり、そこは是々非々で議論すればいいと考えております。一番よくないのは、何も根拠や合理性がないのに古いものを維持したり、変えたりしようとする行為だと思っている
- 電気保安全管理**
  - ・古い常識でも、良いのは残し、あまり現代では意味がないのは、変革していけたらいいと思う
- システムエンジニア**
  - ・スピードや生産性といった企業間の競争が関係するので、その観点から見直しを行うべき
- 保険募集人**
  - ・保険引受のためのお客様の体況目安は、もっと緩和されていて良いと感じる
- 技術サービス業**
  - ・古い常識を持ち続けている人に直接話をして理解してもらえようとし、新しい常識に変えていけるようにする

## ●空調設備

- ・繁忙期の工事単価を2倍位にして、なるべく他の月に買う人を増やすのと、工事単価の上昇

## ●セラピスト

- ・協会や師匠と適度に距離を保ちつつ、個人で活動するには支障のないように属していきたい

## ●イベント業

- ・強要する部分は必要性を説明。特に黒子スタイルは制服(Tシャツ、ジャンパー)で十分だと思う

## ●外部講師

- ・古い常識が最近のトレンドにはまってないことを伝えてつづける

## ●教育業

- ・英検至上主義にならず、会話と文法のバランスが取れた学びの環境を提供したいと思うが、受験に英語が必要である限り英検を無視することはできないので、英検制度をうまく取り入れていくべき

## ●音楽教室経営

- ・古い常識や習慣を当たり前で思っていると、守らない人に出会った時ストレスに感じるので、あまり深く考えないようにしている

## ●教育サービス業

- ・教育はビジネス過ぎではないと一部考えられている。良いサービスを提供するために逆にビジネスとして単価を上げてサービス力を上げるべき。売上を上げて投資力を上げるようにしたい

## ●フリーランス

- ・必要な事、変革すべき事を考え、それ以外の事柄については順次改めて行く事が大事

## ●保険代理業

- ・古い常識、変わらない習慣について様子をみながらゆっくり変えていく

## ●代理販売業

- ・自分たちの意識も大切だが、トップや会社側が積極的に動いていく

## ●ITエンジニア、コンサル

- ・政府主導で法律で立法案を通して廃止していく必要がある

## ●造園

- ・職人同士が働きやすく続けていきやすい様に、お互いが意識を変えて行くべきだと思う

## ●金融業

- ・デジタル化できるものはデジタルで収めて、大切なものは徹底管理ができるようなアプリの導入

## ●請負業

- ・古い常識、変わらない習慣は結局の所、それを当たり前の環境として育ってきた人達が上司になり自分達がされてた内容をそれまた部下に同じ事をしているのが原因と考えているため、風紀を1度改める為の動きを起こす必要がある

## ●外国語通訳

- ・長く働いているベテランさん達の経験を元にもう少し若手達の意見も聞くべき

## ●不動産賃貸業

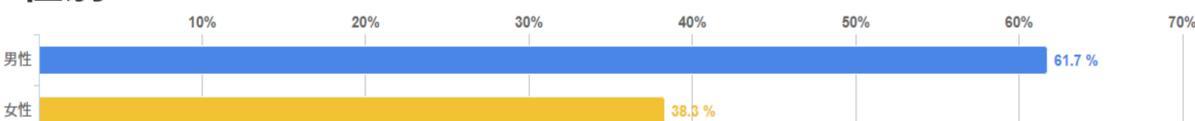
- ・オーナーは不動産賃貸紹介業者の慣例や常識に対しては自分の意見を言い、安易に業者のいうとおりにしないこと

## ●電気工事業

- ・古いから駄目なのでは無いため、良いものは残し、合理が出来る物であれば基本は壊さず変えて行けば良いと思う

# 本調査の回答者属性

## ▼性別



## ▼年齢

